



ユーザーガイド

サウンドバー

SR-X40A

JA

目次

このユーザーガイドについて	5
記載内容に関するお知らせ	5
はじめに	6
本製品の特長	6
同梱品を確認する	10
各部の名称	12
サウンドバーの各部名称（前面/上面）	12
サウンドバーの各部名称（背面）	15
リモコンの各部名称	16
ご使用前の準備	19
準備の流れ	19
準備に関する注意事項	20
本製品を設置する	22
テレビに接続する	24
接続するテレビの端子と使用するケーブル	24
HDMIケーブル（市販品）でテレビに接続する	26
付属のケーブルだけでテレビに接続する	29
AV機器を接続する	30
AV機器をサウンドバーに接続する	30
AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する	32
電源に接続する	34
リモコンを準備する	35
電源をオン/オフする	36

目次

ネットワークに接続する	37
ネットワーク機能について	37
ネットワークケーブルで接続する（有線接続）	38
無線で接続する（無線接続）	39
再生	41
再生時の基本操作	41
お好みの音に調整する	43
本製品のサウンド機能について	43
サラウンドで再生する	45
ステレオで再生する	46
サブウーファーの音量を調節する	47
人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）	48
豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）	49
Bluetooth®機器の音声を聞く	50
Sound Bar Controllerで音楽を再生する	52
ストリーミングサービスについて	52
Sound Bar Controllerアプリでオーディオファイルを再生する	53
AirPlay 2で音楽を聞く	55
その他の機能	56
ランプの明るさを調節する	56
テレビのリモコンでサウンドバーを操作する（HDMIコントロール機能）	57
二ヶ国語放送の音声を切り替える	59
サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する	60
スマートフォンアプリで操作する（Sound Bar Controller）	61
音声で操作する（Amazon Alexa）	62
設定	65
HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える	65
HDMI音声の出力先を切り替える	66
自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える	67

目次

チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える	68
ネットワークスタンバイ機能のオン/オフを切り替える	69
Bluetooth 機能のオン/オフを切り替える	70
無線（Wi-Fi）機能のオン/オフを切り替える	71
ダイナミックレンジの圧縮レベルを設定する	72
本製品のファームウェアを更新する	74
HDMI 信号のフォーマットを設定する	75
設定を初期化する	76
よくあるご質問	77
困ったときに最初に確認すること	77
困ったときは（電源/動作全般）	78
困ったときは（音声）	88
困ったときは（Bluetooth®）	94
困ったときは（ネットワーク）	96
困ったときは（アプリ）	104
待機時消費電力を最小にしたい	106
リモコンの電池を交換したい	107
サウンドバーをリセットしたい	110
仕様	111
本製品の主な仕様	111
対応しているHDMI映像・音声信号フォーマット	114
対応しているデジタル音声信号フォーマット	116
主なランプ表示一覧	117
付録	120
商標	120
サポート窓口一覧	122

このユーザーガイドについて

記載内容に関するお知らせ

- このユーザーガイドでは注意事項などを次のように分類しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

お知らせ

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

- 掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- 記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 各種スマートフォンやタブレット機器を総称して「スマートフォン」と表記しています。必要な場合は、説明文中で機器の種類を特定しています。
- 本説明は日本国内仕様の製品について説明しています。
- このユーザーガイドでは、付属のリモコンによる操作を主として記載しています。
- [検索用タグ]は、検索のためのキーワードです。「スタートアップガイド」から、「ユーザーガイド」へのリンクに使用しています。

お知らせ

この製品には、「スタートアップガイド」が付属しています。はじめに、「スタートアップガイド」裏面に掲載の「安全上のご注意」をご覧ください。

はじめに

本製品の特長

本製品はご家庭のテレビで手軽に臨場感豊かなサラウンドサウンドをお楽しみいただくためのテレビ用バー型スピーカーです。

インターネットに接続すれば、ストリーミングサービスの再生や、ボイスアシスタント「Amazon Alexa」の使用も可能です。

■ テレビに接続するだけでサラウンドサウンドを実現

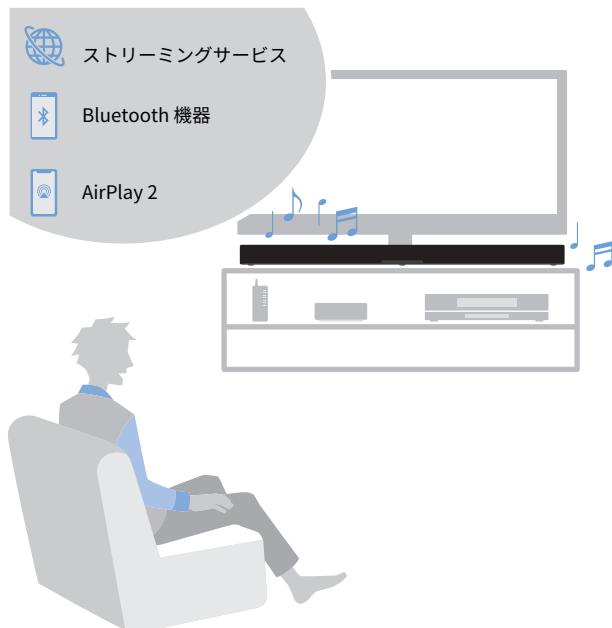
サウンドバーの上面に内蔵されている高さ方向専用スピーカー「ハイツスピーカー」と、オブジェクトベースオーディオ技術「Dolby Atmos」により、前方・左右・後方に加え、高さ方向の音場もバーチャルで再現されます。全身が包み込まれるような音の広がりが生まれ、映像や音楽の世界への没入感が向上します。



関連リンク

「サラウンドで再生する」（45ページ）

■ ストリーミングサービスやBluetoothの音声を簡単再生



関連リンク

- ・「ストリーミングサービスについて」（52ページ）
- ・「Bluetooth®機器の音声を聞く」（50ページ）
- ・「AirPlay 2で音楽を聞く」（55ページ）

■ Amazon Alexa搭載



関連リンク

「音声で操作する（Amazon Alexa）」（62ページ）

■ シチュエーションに合わせたサウンドを実現

クリアボイス

全体の音量やサウンドの個性を変えることなく、再生音の中からセリフやナレーションなどの人の声の音像にフォーカスして強調する機能です。人の声だけが聴きやすくなり、人の声の明瞭な定位感も得られます。

- ・「人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）」（48ページ）

バスエクステンション

低音部の音像にフォーカスして増強する機能です。全体のサウンドのバランスを崩すことなく、低音部の音像全体が明確になるように調整されるため、存在感のある豊かな低音を楽しめます。

- ・「豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）」（49ページ）

■ さまざまな利用シーンに対応した複数の操作方法

サウンドバー本体の操作部、付属のリモコンに加えて、テレビのリモコン、専用のスマートフォンアプリ「Sound Bar Controller」、Amazon Alexaでもサウンドバーを操作できます。

HDMIコントロール機能、オーディオリターンチャンネル（eARC/ARC）対応

HDMIコントロール機能対応のテレビの場合、テレビのリモコンでサウンドバーの基本機能を操作できます。オーディオリターンチャンネル（eARC/ARC）対応テレビの場合、テレビとサウンドバーをHDMIケーブル1本で接続できます。

- ・「HDMIケーブル（市販品）でテレビに接続する」（26ページ）
- ・「テレビのリモコンでサウンドバーを操作する（HDMIコントロール機能）」（57ページ）

スマートフォン専用アプリ「Sound Bar Controller」

サウンドバーをネットワークに接続するための設定に使用します。また、お使いのスマートフォンでサウンドバーを操作したり、スマートフォンに保存された音声ファイルを再生することもできます。

- ・「無線で接続する（無線接続）」（39ページ）
- ・「スマートフォンアプリで操作する（Sound Bar Controller）」（61ページ）

同梱品を確認する

本製品の同梱品は次のとおりです。同梱品がすべて揃っていることを確認してください。

■ 製品本体

- ・サウンドバー (SR-X40A)



■ 付属品

- ・リモコン



* リチウムコイン電池 (CR2025) はセット済みです。

- ・電源コード



- ・光デジタルケーブル



- ・スペーサー (2個)



* サウンドバーを壁に設置するときに使います。

- ・取付用テンプレート



* サウンドバーを壁に設置するときに使います。

はじめに > 同梱品を確認する

- ・スタートアップガイド



- ・保証書



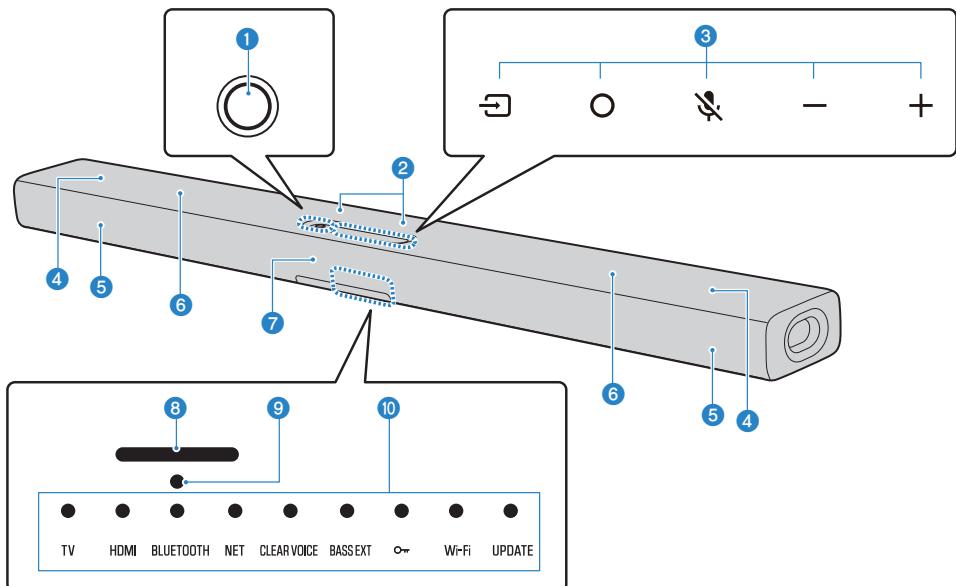
お知らせ

HDMIケーブルは付属していません。本製品の接続にHDMIケーブルをお使いになる場合は、市販のHDMIケーブルをご用意ください。HDMIケーブルは接続する機器の機能に合わせてお選びください。

各部の名称

サウンドバーの各部名称（前面/上面）

サウンドバーの前面/上面の名称と機能について説明します。



① 電源ボタン

サウンドバーの電源をオン/オフします。

② マイク

Alexaに話しかけるためのマイクです。

ご注意

- 本機のお手入れの際には、掃除機やエアダスターをマイク部に使わないでください。マイクが劣化するおそれがあります。

③ 操作部

サウンドバーを操作します。

□（入力切換）：再生する機器を選びます（41ページ）。

○（アクション）：Alexaを呼び出します（62ページ）。

■（マイク オン/オフ）：マイクをオン/オフします。マイクをオフにするとAlexaに呼びかけても反応しません。プライバシーを守りたい場合にお使いください。もう一度押すとマイクがオンになります（62ページ）。

-/+（音量-/+）：音量を調節します（41ページ）。

④ ハイツスピーカー

⑤ フロントスピーカー

⑥ 内蔵サブウーファー

⑦ リモコン受光部

⑧ Alexaランプ

Alexaの状態を示します。

⑨ マイクオフランプ

Alexaに話しかけるマイクがオフのときに赤で点灯します。

⑩ 表示部

ランプが点滅/点灯することで、操作や設定状況を示します。通常の再生中は、次のように設定状況を表示します。

TV/HDMI/BLUETOOTH/NET: 選択された再生機器

CLEAR VOICE: クリアボイス

BASS EXT: バスエクステンション

○-: チャイルドロック機能

Wi-Fi: Wi-Fi接続

UPDATE: ファームウェア更新

お知らせ

このユーザーガイドではランプの消灯/点灯/点滅を次のように表記します。



消灯



点灯



点滅

お知らせ

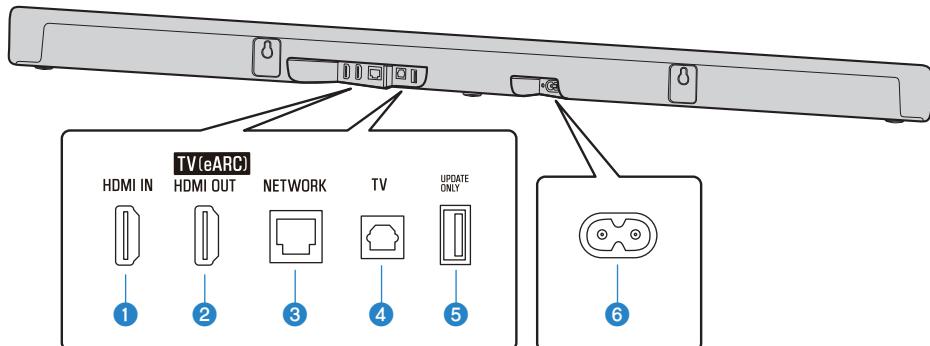
- 意図しない動作を防ぐため、操作部の上にものを置かないでください。
チャイルドロック機能をオンにすると、誤操作を防止できます。
- ランプの明るさをリモコンの 明るさ （明るさ）ボタンで調節できます。

関連リンク

- 「チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える」（68ページ）
- 「ランプの明るさを調節する」（56ページ）

サウンドバーの各部名称（背面）

サウンドバーの背面の名称と機能について説明します。



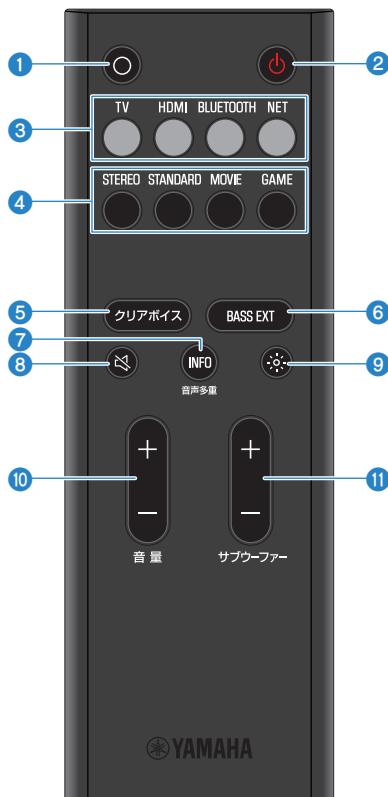
- ① **HDMI IN端子** (30ページ)
- ② **HDMI OUT/TV (eARC)端子** (26ページ)
- ③ **NETWORK (ネットワーク) 端子** (38ページ)
- ④ **TV入力端子** (24ページ)
- ⑤ **UPDATE ONLY (アップデート専用) 端子**
サウンドバーのファームウェアをアップデートするときに使います。
詳細については、次の「ファームウェア更新ガイド」をご覧ください。
https://manual.yamaha.com/av/fwupdate/21/sr_ws/
- ⑥ **AC電源入力端子**

関連リンク

- ・「サウンドバーの各部名称（前面/上面）」 (12ページ)
- ・「リモコンの各部名称」 (16ページ)

リモコンの各部名称

リモコンの名称と機能について説明します。



① ○ (アクション) ボタン

Alexaを呼び出します（62ページ）。

② ⏻ (電源) ボタン

サウンドバーの電源をオン/オフします（36ページ）。

③ 入力ボタン

再生する音声ソースを選びます（41ページ）。

- TVボタン：テレビの音声
- HDMIボタン：HDMI入力端子に接続した機器の音声
- BLUETOOTHボタン：Bluetooth機器の音声
- NETボタン：ストリーミングサービスの音声

④ サウンドモードボタン

お好みのサウンドモードに切り替えます（43ページ）。

- STEREO
- STANDARD
- MOVIE
- GAME

⑤ クリアボイスボタン

クリアボイス機能のオン/オフを切り替えます（48ページ）。

⑥ BASS EXTボタン

バスエクステンション機能のオン/オフを切り替えます（49ページ）。

⑦ INFOボタン

・再生中の音声信号の種類やサウンドバーの設定を表示します（60ページ）。

音声多重ボタン

・ボタンを5秒以上押して、地上デジタル/BSデジタル放送（モノラル多重音声）の主音声/副音声を切り替えます（59ページ）。

⑧ 🔍（消音）ボタン

消音します（41ページ）。もう一度押すか、音量（+/-）ボタンを押して消音を解除します。

⑨ 🌄（明るさ）ボタン

サウンドバーの表示部（ランプ）の明るさを切り替えます（56ページ）。

⑩ 音量（+/-）ボタン

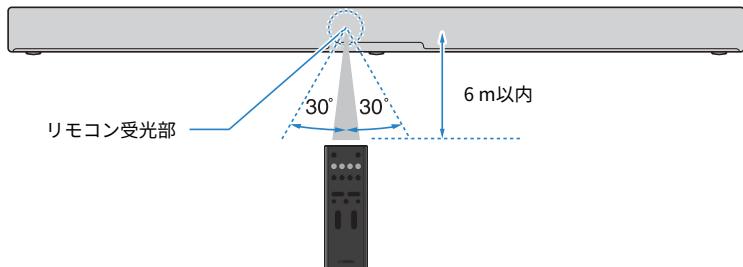
サウンドバーの音量を調節します（41ページ）。

⑪ サブウーファー（+/-）ボタン

サブウーファーの音量を調節します（47ページ）。

お知らせ

次の範囲内で操作してください。



関連リンク

「サウンドバーの各部名称（前面/上面）」（12ページ）

ご使用前の準備

準備の流れ

本製品を使用するために、次のように準備してください。

1 サウンドバーを設置する。

「本製品を設置する」（22ページ）

2 テレビとサウンドバーを接続する。

接続するテレビが搭載する端子や、お使いになる機能に合わせてサウンドバーを接続してください。

「接続するテレビの端子と使用するケーブル」（24ページ）

「付属のケーブルだけでテレビに接続する」（29ページ）

「HDMIケーブル（市販品）でテレビに接続する」（26ページ）

3 (必要な場合のみ) AV機器を接続する。

「AV機器をサウンドバーに接続する」（30ページ）

「AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する」（32ページ）

4 電源に接続する。

「電源に接続する」（34ページ）

5 リモコンを準備する。

「リモコンを準備する」（35ページ）

6 電源をオンにする。

「電源をオン/オフする」（36ページ）

7 (必要な場合のみ) ネットワークに接続する。

「ネットワーク機能について」（37ページ）

「ネットワークケーブルで接続する（有線接続）」（38ページ）

「無線で接続する（無線接続）」（39ページ）

準備に関する注意事項

サウンドバーを設置して他の機器を接続する前に、次の注意事項を必ずお読みください。注意事項は必ずお守りください。

■ 設置時の注意事項



警告

- ・ユーザーガイドで指示された方法で設置してください。落下や転倒して、けがや破損の原因になります。
- ・設置後は必ず安全性を確認してください。定期的に安全点検を実施してください。落下や転倒して、けがや破損の原因になります。
- ・浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しないでください。本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かないでください。内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。
- ・本製品の近くで、火気を使用しないでください。火災の原因になります。
- ・医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しないでください。本製品が発する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



注意

- ・不安定な場所や振動する場所に置かないでください。本製品が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。
- ・本製品を設置する際は、放熱を妨げないようにしてください。機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になります。
- ・地震など災害が発生した場合は本製品に近づかないでください。本製品が転倒または落下して、けがの原因になります。

ご注意

- ・塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しないでください。故障の原因になります。
- ・本製品のスピーカーユニットや布の部分を強く押さないでください。
- ・磁気に弱いもの（ハードディスクドライブ、磁気カードなど）を周囲に置かないでください。サウンドバーが発する磁気の影響で、置いたもの自体や収録されたデータが破損するおそれがあります。
- ・直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・無線機能を使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

■ 接続時の注意事項



警告

- ・電源は本製品に表示している電源電圧で使用してください。誤って使用すると、火災、感電または故障の原因になります。
- ・電源コードは、必ず付属品を使用してください。付属の電源コードをほかの機器に使用しないでください。誤って使用すると、火災、感電または故障の原因になります。
- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、ぬれた手で本製品を扱わないでください。感電や故障の原因になります。
- ・落雷のおそれがあるときは、電源プラグやコードに触らないでください。感電の原因になります。
- ・電源プラグは、目に見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続してください。万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。
- ・長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。火災や故障の原因になります。
- ・電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取ってください。火災または感電の原因になります。



注意

- ・電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しないでください。火災、感電、やけどの原因になります。
- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。
- ・電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込んでください。差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

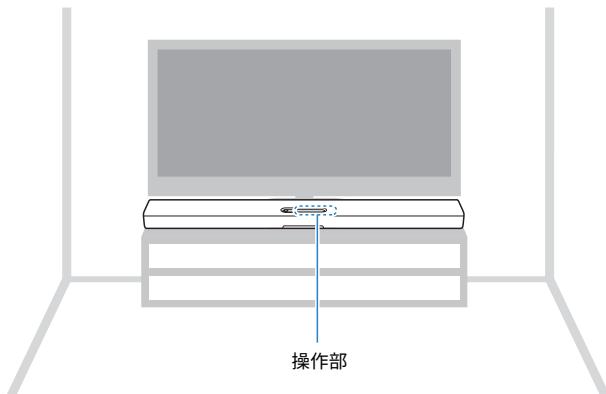
ご注意

- ・外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因になります。
- ・業務用機器とは接続しないでください。本製品は民生用の機器と接続する目的で設計されています。業務用機器に接続すると、故障の原因になります。

本製品を設置する

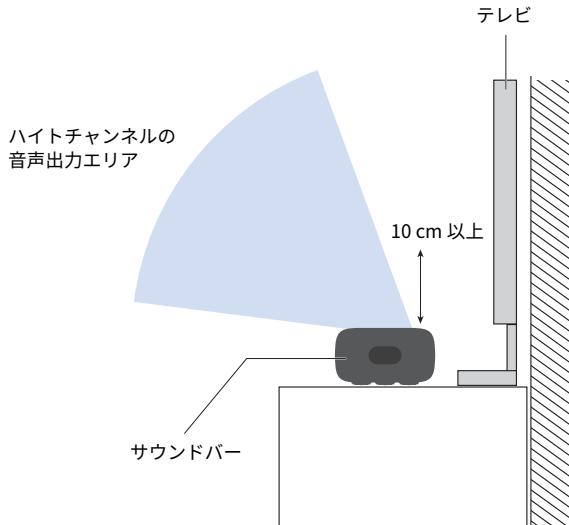
- 設置する前に、次の注意事項をご覧ください。
・「準備に関する注意事項」（20ページ）

次の図のようにサウンドバーを設置します。



ご注意

- 放熱を妨げないように、サウンドバーの周囲に上10 cm、左右10 cm、背面10 cm 以上のスペースを確保してください。
- サウンドバーの上面には、ハイトチャンネルの音声を出力するハイツスピーカーが搭載されています。サウンドバーの上面に10 cm以上のスペースを空けることで、ハイトチャンネルの音声が妨げられることなく出力されます。それにより、最適なサラウンド音場を得られます。



お知らせ

サウンドバーを壁に取り付けることもできます。安全な取り付けのため、施工はお買い上げの販売店または施工の専門事業者に依頼してください。詳しくは、次のウェブサイトをご覧ください。

https://manual.yamaha.com/av/sb/wallmount/srx40a_x50a/

次の手順

- テレビに接続する：
 - 「接続するテレビの端子と使用するケーブル」 (24ページ)
 - 「HDMIケーブル（市販品）でテレビに接続する」 (26ページ)
 - 「付属のケーブルだけでテレビに接続する」 (29ページ)

テレビに接続する

接続するテレビの端子と使用するケーブル

サウンドバーの機能を十分に活かすため、テレビとサウンドバーをHDMIケーブルで接続します。

本製品にHDMIケーブルは付属していません。接続する機器の機能に対応した、市販のHDMIケーブルをご用意ください。（以下をご覧ください。）

ARC非対応のHDMI入力端子に接続する場合は、付属の光デジタルケーブルも接続します。

ケーブル

HDMIケーブル（市販品）



ARC非対応のHDMI入力端子に接続する場合
光デジタルケーブル（付属品）



接続するテレビの端子

HDMI入力端子



ARC非対応のHDMI入力端子に接続する場合
光デジタル音声出力端子



接続方法

「HDMIケーブル（市販品）でテレビに接続する」（26ページ）

■ 接続する機器の機能と対応するHDMIケーブル

お使いになりたい機能に対応したHDMIケーブルで、テレビとサウンドバーを接続してください。

テレビのリモコンでサウンドバーを操作する「HDMIコントロール機能」を使う

スタンダードHDMIケーブル、またはそれ以上のタイプのHDMIケーブルであればいずれもお使いいただけます。テレビのHDMI入力端子がARC対応の場合は、ARC対応のHDMIケーブルをお使いください。

ご使用前の準備 > テレビに接続する

eARC対応のテレビから、Dolby Atmosなどの高品位の音声信号をサウンドバーに入力する

イーサネット対応のHDMIケーブルをお使いください。

サウンドバーのHDMI IN端子にAV機器を接続して、高品位な映像信号をテレビに伝送するAV機器から出力される映像信号の伝送に対応したHDMIケーブルをお使いください。

- 3D映像信号、4K映像信号：プレミアムハイスピードHDMIケーブル
- HDR映像信号：HDR対応のHDMIケーブル

■ 付属のケーブルだけでテレビと接続する場合

光デジタル音声出力があるテレビの場合、付属の光デジタルケーブルだけでも接続できます。サウンドバーは付属のリモコンで操作します。

ケーブル：光デジタルケーブル（付属品）



接続するテレビの端子：光デジタル音声出力端子



接続方法

「付属のケーブルだけでテレビに接続する」（29ページ）

お知らせ

- ARCとは、Audio Return Channel（オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。テレビのARC対応HDMI入力端子とサウンドバーやAVレシーバーなどのARC対応HDMI出力端子をHDMIケーブルで接続することで、光ケーブルなどを接続することなくテレビの音声をサウンドバー或いはAVレシーバーで再生できます。
- eARCとは、Enhanced Audio Return Channel（エンハンスド・オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。ARCの機能を拡張したもので、Dolby Atmosなど、ARCでは伝送できない高品位の音声信号もテレビ経由で伝送できます。
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をお使いください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをお使いください。

HDMIケーブル（市販品）でテレビに接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
- 「準備に関する注意事項」（20ページ）

HDMIケーブルでテレビに接続すると、HDMIコントロール機能によりテレビのリモコンでサウンドバーを操作できます。

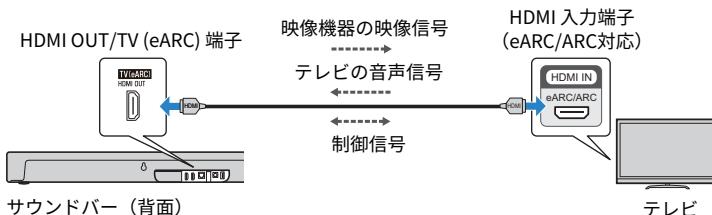
■ eARC/ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のHDMI入力端子に接続する場合

HDMIケーブル（市販品）を使って、テレビに接続します。

テレビのオーディオリターンチャンネル対応HDMI入力端子（「ARC」や「eARC」などの表示のある端子）に接続してください。

HDMIケーブルは、テレビの音声信号と、テレビのリモコンでサウンドバーを操作するための制御信号を伝送します。また、サウンドバーのHDMI IN端子に接続したAV機器の映像信号をテレビに伝送します。

- テレビのeARC対応HDMI入力端子に接続すると、テレビから高品位の音声信号をサウンドバーに伝送できます。eARC対応のHDMI入力端子に接続する場合は、イーサネット対応のHDMIケーブルをお使いください。ARCのみ対応のHDMI入力端子に接続する場合は、ARC対応のHDMIケーブルをお使いください。



使用するケーブル

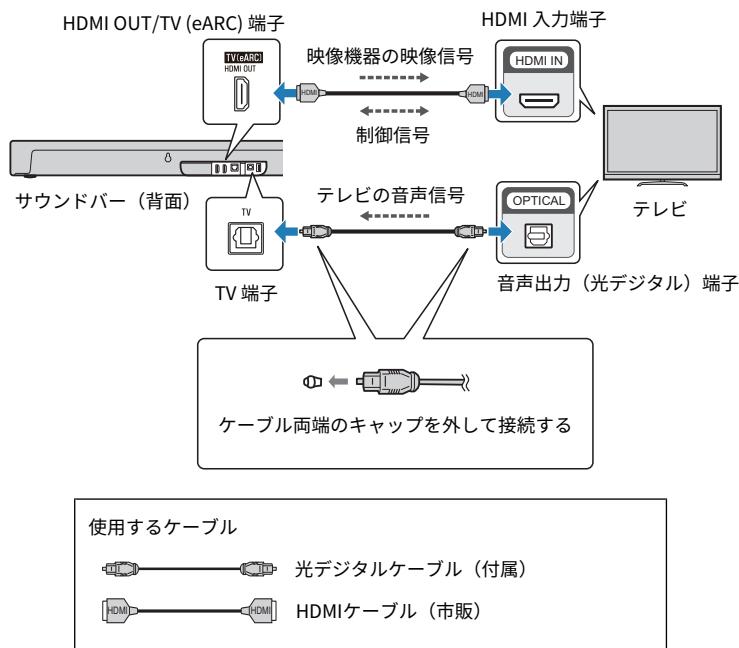


■ ARC非対応のHDMI入力端子に接続する場合

HDMIケーブル（市販品）と付属の光デジタルケーブルを使って、テレビに接続します。光デジタルケーブルは、テレビの音声信号をサウンドバーに伝送します。

ご使用前の準備 > テレビに接続する

HDMIケーブルは、テレビのリモコンでサウンドバーを操作するための制御信号を伝送します（HDMIコントロール機能）。また、サウンドバーのHDMI IN端子に接続したAV機器の映像信号をテレビに伝送します。



お知らせ

- ARCとは、Audio Return Channel（オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。テレビのARC対応HDMI入力端子とサウンドバーやAVレシーバーなどのARC対応HDMI出力端子をHDMIケーブルで接続することで、光ケーブルなどを接続することなくテレビの音声をサウンドバーやAVレシーバーで再生できます。
- eARCとは、Enhanced Audio Return Channel（エンハンスド・オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。ARCの機能を拡張したもので、ARCでは伝送できない高品位の音声信号もテレビ経由で伝送できます。
- ARC機能、またはHDMIコントロール機能を使用する場合は、サウンドバーのHDMIコントロール機能をオンにしてください。初期設定は「オン」です。
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をお使いください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをお使いください。
- サウンドバーのHDMI IN端子にAV機器を接続する場合は、テレビとサウンドバーの接続にそのAV機器から出力される映像信号の伝送に対応したHDMIケーブルをお使いください。
 - 3D映像信号、4K映像信号：プレミアムハイスピードHDMIケーブル
 - HDR映像信号：HDR対応のHDMIケーブル

次の手順

- AV機器を接続する場合：
 - ・「AV機器をサウンドバーに接続する」（30ページ）
 - ・「AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する」（32ページ）
- AV機器を接続しない場合：
 - ・「電源に接続する」（34ページ）

関連リンク

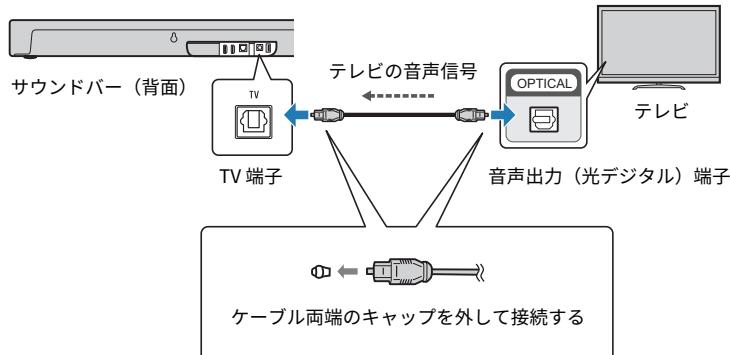
「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（65ページ）

付属のケーブルだけでテレビに接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
・「準備に関する注意事項」（20ページ）

付属の光デジタルケーブルを使って、テレビに接続します。

光デジタルケーブルは、テレビの音声信号をサウンドバーに伝送します。



使用するケーブル

光デジタルケーブル（付属）

次の手順

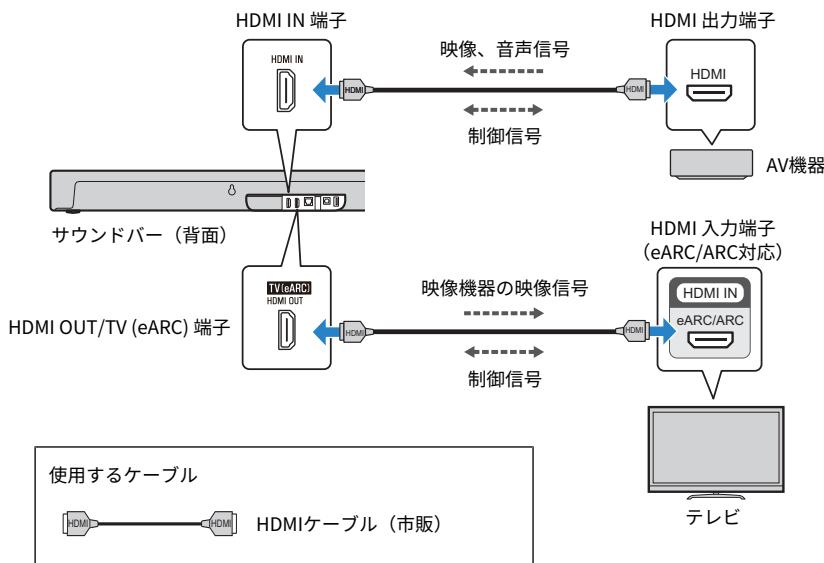
- 「電源に接続する」（34ページ）

AV機器を接続する

AV機器をサウンドバーに接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
- 「準備に関する注意事項」（20ページ）

HDMIケーブル（市販品）を使って、サウンドバーにAV機器（ブルーレイディスクプレーヤーやメディアストリーミング端末など）を接続します。



お知らせ

- AV機器の音声を出力するには、次のように入力を設定してください。
 - サウンドバーの入力：HDMI
- サウンドバーのHDMIコントロール機能をオンにすると、サウンドバーの電源がオフのときでもテレビでAV機器の映像や音声を再生できます（HDMI信号バススルー）。初期設定は「オン」です。
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をお使いください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをお使いください。
- AV機器から出力される映像信号の伝送に対応するHDMIケーブルで、サウンドバーとTV、およびサウンドバーとAV機器を接続してください。
 - 3D映像信号、4K映像信号：プレミアムハイスピードHDMIケーブル
 - HDR映像信号：HDR対応のHDMIケーブル

次の手順

- ・「電源に接続する」 (34ページ)

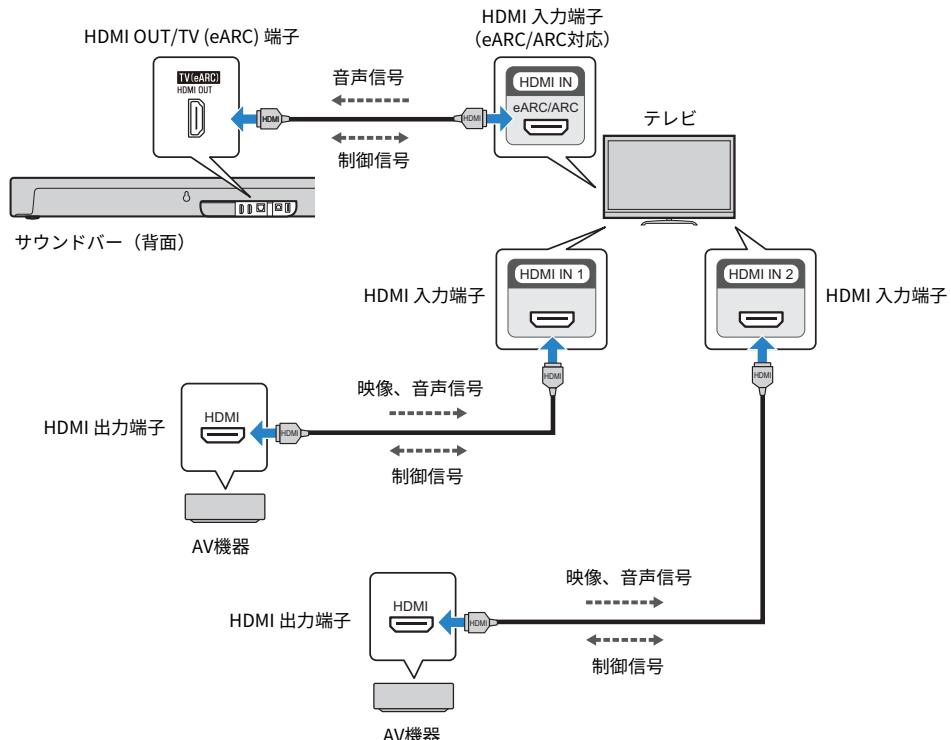
関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」 (65ページ)

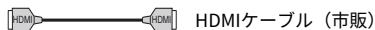
AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
- 「準備に関する注意事項」（20ページ）

HDMIケーブル（市販品）を使って、テレビにAV機器（ブルーレイディスクプレーヤーやメディアストリーミング端末など）を接続します。接続するAV機器が複数ある場合や、テレビの入力切り換えで再生するAV機器を切り替えたい場合は、この方法で接続してください。



使用するケーブル



お知らせ

- AV機器の音声を出力するには、次のように入力を設定してください。
 - ・サウンドバーの入力：TV
 - ・テレビの入力切換：再生するAV機器
- ARCとは、Audio Return Channel（オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。テレビのARC対応HDMI入力端子とサウンドバーやAVレシーバーなどのARC対応HDMI出力端子をHDMIケーブルで接続することで、光ケーブルなどを接続することなくテレビの音声をサウンドバーやAVレシーバーで再生できます。
- eARCとは、Enhanced Audio Return Channel（エンハンスド・オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。ARCの機能を拡張したもので、Dolby Atmosなど、ARCでは伝送できない高品位の音声信号もテレビ経由で伝送できます。
- サウンドバーをテレビのARC対応のHDMI入力端子に接続した場合は、サウンドバーのHDMIコントロール機能をオンにしてください。初期設定は「オン」です。
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をお使いください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをお使いください。
- ARCやeARC機能を使用する場合は、イーサネット対応ハイスピードHDMIケーブルなど、eARC/ARCに対応したHDMIケーブルをお使いください。
- AV機器から出力される映像信号の伝送に対応するHDMIケーブルで、テレビとAV機器を接続してください。
 - ・3D映像信号、4K映像信号：プレミアムハイスピードHDMIケーブル
 - ・HDR映像信号：HDR対応のHDMIケーブル
- お使いのテレビによっては、AV機器から入力した高品位の音声信号（Dolby Atmosなど）を別の音声信号に変換して伝送することができます。AV機器から出力された音声信号の特性を最大限に生かしたサウンドで再生するには、サウンドバーのHDMI IN端子にAV機器を接続してください。

次の手順

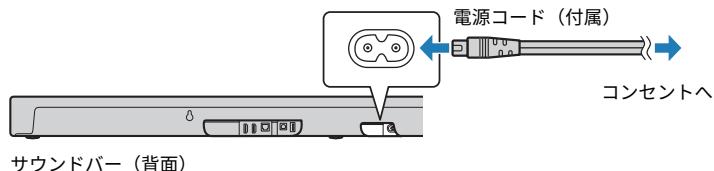
- 「電源に接続する」（34ページ）

関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（65ページ）

電源に接続する

テレビやAV機器との接続が完了したら、サウンドバーをコンセントに接続してください。



サウンドバー（背面）

電源に接続すると、サウンドバー前面のランプが次のように約1分間点滅して消灯します。



ランプが消灯したのを確認してから、電源をオンにしてください。

次の手順

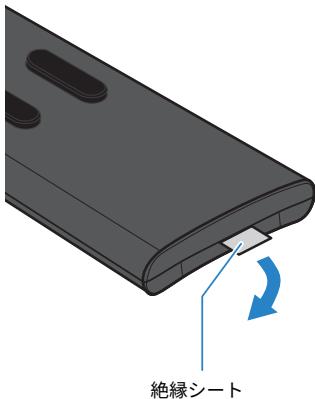
- 「リモコンを準備する」 (35ページ)

関連リンク

「電源をオン/オフする」 (36ページ)

リモコンを準備する

電池の絶縁シートを引き抜いてから、リモコンを使用してください。



関連リンク

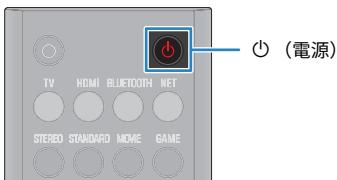
「リモコンの電池を交換する」 (108ページ)

電源をオン/オフする

サウンドバーの電源をオン/オフします。

1 リモコンの \odot （電源）ボタンを押す。

ボタンを押すたびにサウンドバーの電源をオン/オフできます。



電源をオンにすると、いったんサウンドバー前面のすべてのランプが点灯したあと、設定状態に応じてランプが点灯します（通常表示）。



電源をオフにすると、ランプが消灯します。

お知らせ

電源に接続すると、サウンドバー前面のランプが次のように約1分間点滅して消灯します。



ランプが消灯したのを確認してから、電源をオンにしてください。

次の手順（必要な場合のみ）

- サウンドバーをネットワークに接続する：
 - 「ネットワーク機能について」（37ページ）
 - 「ネットワークケーブルで接続する（有線接続）」（38ページ）
 - 「無線で接続する（無線接続）」（39ページ）

ネットワークに接続する

ネットワーク機能について

サウンドバーをネットワークに接続すると、ネットワークを利用した次の機能が使えます。

- ・各種ストリーミングサービス
- ・Amazon Alexa
- ・AirPlay再生
- ・アプリでの操作

サウンドバーは、有線接続と無線接続に対応しています。お使いのネットワーク環境に合わせて、有線接続または無線接続のいずれかの方法でネットワークに接続してください。

- ・「ネットワークケーブルで接続する（有線接続）」（38ページ）
- ・「無線で接続する（無線接続）」（39ページ）

ご注意

- ・本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティーを保つため必ずルーターなどを経由して接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）には直接接続しないでください。

お知らせ

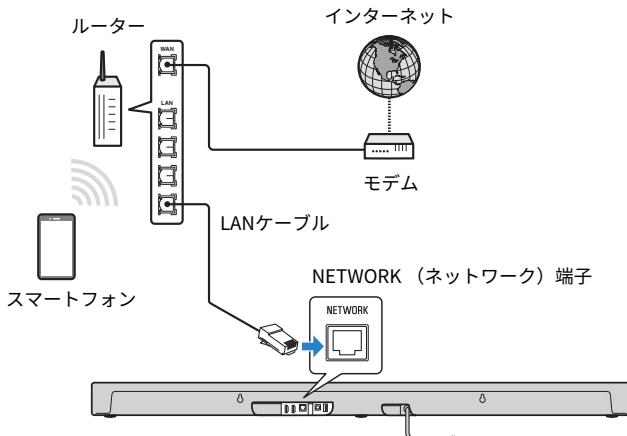
- ・サウンドバーは手動で設定が必要なネットワークには接続できません。DHCP が有効なルーターに接続してください。
- ・無線接続の設定には、スマートフォン専用アプリ「Sound Bar Controller」が必要です。
- ・Amazon Alexaや各種ストリーミングサービスは提供される地域が限定されています。本製品を使用する国や地域によっては、Amazon Alexaや各種ストリーミングサービスをご利用になれない場合があります。

関連リンク

- ・「ストリーミングサービスについて」（52ページ）
- ・「音声で操作する（Amazon Alexa）」（62ページ）

ネットワークケーブルで接続する（有線接続）

市販のLANケーブル（CAT-5以上のSTPストレートケーブル）を使って、サウンドバーをルーターに接続します。これで有線接続は完了です。



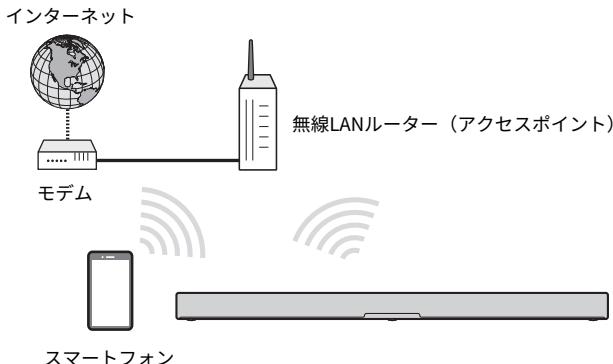
ご注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由して接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）には直接接続しないでください。

無線で接続する（無線接続）

無線LANルーター（アクセスポイント）に接続してネットワークを利用します。スマートフォン専用アプリ「Sound Bar Controller」を使って接続の設定をしてください。

[検索用タグ]#Q02 Network



ご注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由して接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）には直接接続しないでください。

お知らせ

- 本機は2.4 GHz帯のネットワークのみ対応しています。あらかじめ、スマートフォンを2.4 GHz帯のネットワークに接続してから本機を設定してください。
- サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）が離れていると接続できない場合があります。そのような場合はサウンドバーと無線LANルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください。
- お使いになるスマートフォンがご家庭のルーターに接続されているか、確認してから操作してください。
- ご使用のスマートフォンによっては、表示例とは表示が異なる場合があります。
- Sound Bar Controllerの画面、メニュー名称などは予告なく変更される場合があります。

1 スマートフォンにSound Bar Controllerアプリをインストールし、アプリを開く。

App Store またはGoogle Play で「Sound Bar Controller」を検索して、インストールしてください。

2 アプリの画面に従って設定する。



無線ネットワークに接続すると、サウンドバーのWi-Fiランプが点灯します。



ご購入後初めてサウンドバーをネットワークに接続すると、最新のファームウェアにアップデートされます。

ネットワーク接続の設定に引き続き、Amazon Alexaを設定します。アプリの画面に従って設定してください。あとからアプリの「Amazon Alexa設定」で設定することもできます。

関連リンク

- ・「スマートフォンアプリで操作する（Sound Bar Controller）」（61ページ）
- ・「音声で操作する（Amazon Alexa）」（62ページ）

再生

再生時の基本操作

再生する場合の基本的な操作方法を説明します。

■ 入力音声の選択

リモコンの次の入力ボタンを押します。

- TVボタン：テレビの音声
- HDMIボタン：HDMI IN端子に接続した機器の音声
- BLUETOOTHボタン：Bluetooth機器の音声
- NETボタン：ストリーミングサービスの音声



選択した入力をサウンドバー前面のランプで次のように表示します。



いずれかが点灯

■ 音量の調節

リモコンの音量 (+/-) ボタンを押して、音量を調節します。



音量に応じて点灯するランプの数が増減します。

再生 > 再生時の基本操作



音量が上がる (+)

音量が下がる (-)

テレビのスピーカーとサウンドバーの両方から音声が出力されている場合は、テレビを消音してください。

一時的にサウンドバーを消音するには、リモコンの🔇（消音）ボタンを押します。消音を解除するには、再度🔇（消音）ボタンを押すか、音量（+/-）ボタンを押してください。



消音中は次のように表示されます。



点滅

関連リンク

- ・「サラウンドで再生する」（45ページ）
- ・「ステレオで再生する」（46ページ）
- ・「サブウーファーの音量を調節する」（47ページ）
- ・「人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）」（48ページ）
- ・「豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）」（49ページ）
- ・「Bluetooth®機器の音声を聞く」（50ページ）
- ・「Sound Bar Controllerで音楽を再生する」（52ページ）
- ・「AirPlay 2で音楽を聞く」（55ページ）

お好みの音に調整する

本製品のサウンド機能について

本製品はサラウンド再生用のサウンドモードとステレオ再生用のサウンドモードを搭載しています。また、各種のサウンド設定で、さらにお好みのサウンドに近づけることができます。

■ サウンドモード

3つのサラウンド再生用のサウンドモードとステレオ再生用のサウンドモードから1つを選んでお楽しみいただけます。

STEREO

ステレオ再生（2chステレオ）用のサウンドモードです。音楽の再生に適しています。

STANDARD

スポーツ中継などのテレビ番組に適したサラウンド再生用のサウンドモードです。広がりのある音場を再現しつつ、人の声の音像を強調し、聴きとりやすい声を実現します。

MOVIE

映画に適したサラウンド再生用のサウンドモードです。三次元的な音場を再現し、包み込まれるようなサウンドの空間を演出します。サウンド特性の設定を変更することもできます。

GAME

ゲームに適したサラウンド再生用のサウンドモードです。個々の効果音の定位を正確に再現し、強調することで、没入感の高いゲーム体験を実現します。

お知らせ

- BLUETOOTHまたはNET（ストリーミングサービスなど）入力の音声はステレオで再生されます。
- 再生している音声信号によっては、サウンドモードの切り替え時に音が出るまで数秒間かかることがあります。

■ サウンド設定

サウンド設定を使用して、お好みのサウンドに近づけることができます。

再生 > お好みの音に調整する

クリアボイス

クリアボイスをオンになると、音量を上げなくても再生音の中の人の声が聞き取りやすくなります。小音量で映画やドラマを楽しむときや、BGMや効果音が多く使われた映画やドラマなどにおすすめします。

バスエクステンション

バスエクステンションをオンになると、低音部の音像が増強されます。全体のサウンドのバランスを崩すことなく低音部の音像を明確にし、存在感のある豊かな低音を表現します。

お知らせ

再生している音声信号によっては、サウンド設定の切り替え時に音が出るまで数秒間かかることがあります。

関連リンク

- ・「サラウンドで再生する」（45ページ）
- ・「ステレオで再生する」（46ページ）
- ・「人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）」（48ページ）
- ・「豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）」（49ページ）

サラウンドで再生する

リモコンのSTANDARD、MOVIE、GAMEの各ボタンを押して、サラウンド再生に切り替えます。サラウンド再生中は、水平方向だけでなく、高さ方向の広がりもあるサラウンド音場で再生されます。視聴する映像や音楽に合わせて、お好みのサウンドモードを選択してください。



お知らせ

- 立体感のあるサラウンド音場を実現するため、サウンドバーは次の技術を使用しています。
 - Dolby Atmos：オブジェクトベースのサラウンド技術です。従来のチャンネルにとらわれず、コンテンツの音声を多数のオブジェクト（音声の情報と音の位置の動きに関する情報の組み合わせ）の集合として制御します。従来より精密な音の制御が可能になったことで、本製品の特性を活かしてコンテンツ制作者の意図に沿った音場を再現しています。
 - ハイツスピーカー：サウンドバー上面に内蔵された高さ方向の音を出力するための専用スピーカーユニットです。
- BLUETOOTHまたはNET（ストリーミングサービスなど）入力の音声は、サウンドモードの設定にかかわらずステレオで再生されます。

関連リンク

「本製品のサウンド機能について」（43ページ）

■ MOVIEのサウンド特性を切り替える

サウンドモードをMOVIEにしたときのサウンド特性を設定できます。

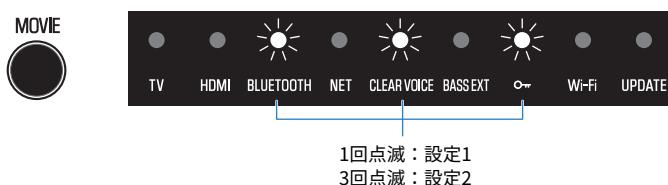
リモコンのMOVIEボタンを5秒以上押し続けると、設定1と2が切り替わります。

設定1：ヤマハが設計した理想的なサウンド特性です。

設定2：Dolby Atmosデコーダー向けのサウンド特性です。

初期設定は、「設定1」です。

設定を切り替えると、サウンドバー前面のランプで次のように表示します。



お知らせ

クリアボイスがオンの場合、常に設定1のサウンド特性で再生します。

再生 > お好みの音に調整する

ステレオで再生する

リモコンのSTEREOボタンを押して、ステレオ再生（2chステレオ）に切り替えます。

STEREO



お知らせ

ステレオ再生を解除するには、STANDARD、MOVIE、GAMEボタンのいずれかを押します。

関連リンク

「本製品のサウンド機能について」（43ページ）

再生 > お好みの音に調整する

サブウーファーの音量を調節する

サブウーファーの音量だけを調節します。

リモコンのサブウーファー (+/-) ボタンで調節します。



音量に応じてサウンドバー前面のランプで次のように表示します。



音量が下がる (-)

音量が上がる (+)

人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）

クリアボイスをオンにすると、音量を上げなくても再生音の中の人の声が聞き取りやすくなります。小音量で映画やドラマを楽しむときや、BGMや効果音が多く使われた映画やドラマなどにおすすめします。

リモコンのクリアボイスボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。



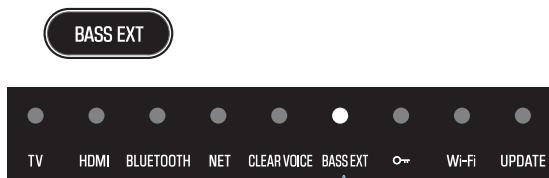
お知らせ

クリアボイスは、再生音の中からセリフやナレーションなどの人の声の音像にフォーカスして強調する機能です。全体の音量や周波数特性を変えることなく人の声だけを強調し、人の声の定位感も明瞭にします。

豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）

バスエクステンションをオンになると、低音部の音像が増強されます。サブウーファーの音量はそのままで、低音部の音像全体が明確になるように調整されます。そのため、全体のサウンドのバランスを崩すことなく、低音部の音像の存在感を際立たせることができます。サブウーファーの音量を抑えつつ低音を増強したいときや、低音楽器の響きを強調したいときにおすすめします。

リモコンのBASS EXTボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。



Bluetooth®機器の音声を聞く

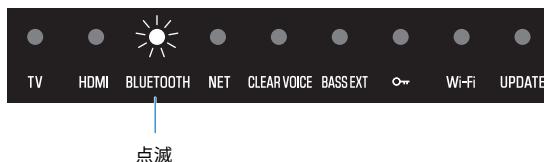
Bluetooth機器の音声をサウンドバーで再生します。



- 1 リモコンのBLUETOOTHボタンを押して、サウンドバーの入力をBluetoothに切り替える。

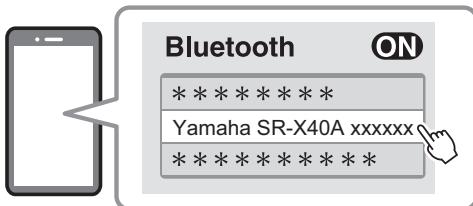


接続待ちの状態になり、BLUETOOTHランプが点滅します。

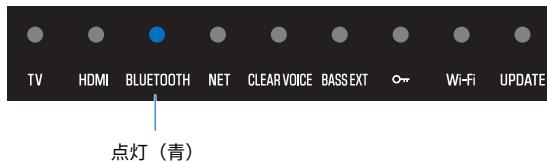


- 2 Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにする。

3 Bluetooth機器で本製品を選ぶ。

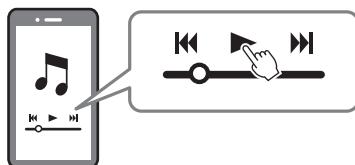


接続が完了すると、サウンドバーのBLUETOOTHランプが点滅から点灯（青）に変わります。



4 Bluetooth機器で再生を開始する。

サウンドバーから音声が出ます。



お知らせ

- ネットワークスタンバイ機能により、Bluetooth機器で接続操作したとき、自動的にサウンドバーの電源が入ります。
- 他のBluetooth機器を接続したことがある場合、入力をBluetoothに切り替えると最後に接続した機器に接続します。
- Bluetooth接続中に次のいずれかの操作をすると、Bluetooth接続が切断されます。
 - Bluetooth機器でBluetooth機能をオフにする。
 - サウンドバーのリモコンのBLUETOOTHボタンを5秒以上押す。
 - サウンドバーでBluetooth以外の入力を選択する。
 - サウンドバーの電源をオフにする。
- 必要に応じて、Bluetooth機器側の音量を調節してください。
- Bluetooth機器の音声は、サウンドモードの設定にかかわらずステレオで再生されます。

関連リンク

「ネットワークスタンバイ機能のオン/オフを切り替える」（69ページ）

Sound Bar Controllerで音楽を再生する

ストリーミングサービスについて

サウンドバーでインターネット上の各種ストリーミングサービスが配信するコンテンツを再生します。各ストリーミングサービスの専用アプリを使用するか、Alexaに話しかけることで、ストリーミングサービスやコンテンツの選択ができます。

対応しているストリーミングサービスについては、ヤマハウェブサイトの製品情報ページをご覧ください。

また、次のウェブサイトでも各ストリーミングサービスについての補足情報を掲載しています。

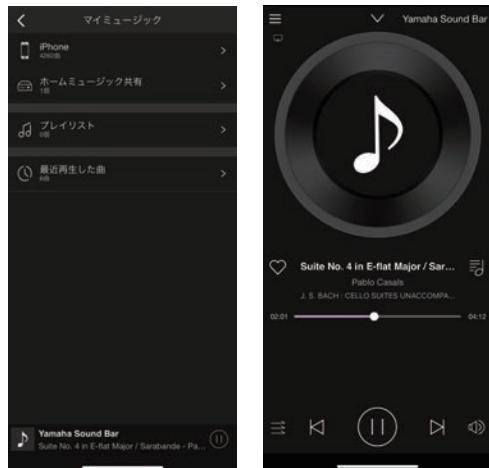
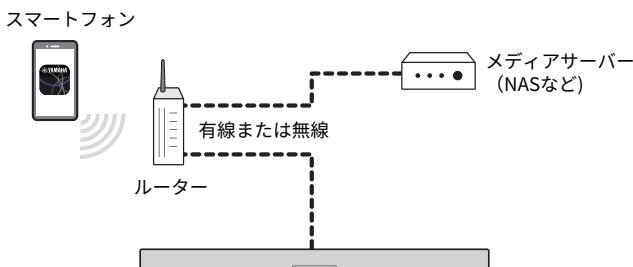
<https://manual.yamaha.com/av/sb/ss/sbc/>

お知らせ

- サウンドバーでストリーミングサービスをお楽しみになるには、有料サービスの申し込みが必要になる場合があります。各ストリーミングサービスについては、サービス提供者のウェブサイトをご覧ください。
- ストリーミングサービスが提供するサービスについては、予告なく変更、停止または終了されることがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ストリーミングサービスの音声は、サウンドモードの設定にかかわらずステレオで再生されます。

Sound Bar Controllerアプリでオーディオファイルを再生する

スマートフォンにインストールしたSound Bar Controllerアプリを使って、スマートフォンやメディアサーバー（パソコンやNAS）の音楽をネットワーク経由で再生します。詳しくは、Sound Bar Controllerアプリをご覧ください。



アプリを使って再生できるファイルフォーマット

スマートフォンやメディアサーバー（パソコンやNAS）のオーディオファイルのうち、アプリを使ってサウンドバーで再生できるファイルフォーマットは次のとおりです。

- WAV*、AIFF、FLAC、Ogg Vorbis（サンプリング周波数：32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz）
- MP3、WMA、MPEG-4 AAC、Ogg Opus（サンプリング周波数：32 / 44.1 / 48 kHz）
- ALAC（サンプリング周波数：32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz）

* リニアPCM フォーマットのみ

お知らせ

- Sound Bar Controllerでオーディオファイルを再生すると、サウンドモードの設定にかかわらずステレオで再生されます。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- メディアサーバーの音楽ファイルを再生するには、各機器またはメディアサーバーソフトでのメディア共有設定を有効にする必要があります。詳しくは各機器またはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- スマートフォンやメディアサーバー、およびサウンドバーが同じネットワークに接続されている必要があります。
- メディアサーバー（パソコンやNAS）にインストールされているサーバーソフトにより、再生可能フォーマットが異なります。詳しくはサーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。

関連リンク

「スマートフォンアプリで操作する（Sound Bar Controller）」（61ページ）

AirPlay 2で音楽を聴く

AirPlay 2を使って、音楽などをサウンドバーで再生します。iPhoneやiTunes/ミュージックのAirPlayアイコンをタップ（クリック）し、出力先としてサウンドバーを選択してください。



注意

- AirPlay機器で音量を調節すると、予想外に音量が大きくなり、聴覚障害や機器の損傷の原因になる場合があります。再生中に音量が大きくなってしまった場合は、すぐに再生を停止してください。

お知らせ

- ネットワークスタンバイ機能により、AirPlay機器で再生を始めると、自動的にサウンドバーの電源が入ります。
- Sound Bar Controllerアプリを使ってAirPlay機器に表示されるサウンドバーのネットワーク名を変更できます。
- AirPlay機器の音声は、サウンドモードの設定にかかわらずステレオで再生されます。
- 再生中はAirPlay機器からサウンドバーの音量を操作できます。
- サウンドバーはAirPlay 2に対応しています。
- AirPlayについては、Apple社のホームページをご覧ください。

関連リンク

「ネットワークスタンバイ機能のオン/オフを切り替える」（69ページ）

その他の機能

ランプの明るさを調節する

サウンドバーのランプの明るさを「明るい」、「暗い」、「消灯」の3段階で切り替えます。

初期設定は「暗い」です。

- 1** サウンドバーの電源をオンにする。
- 2** リモコンの※（明るさ）ボタンを押す。



ボタンを押すたびに、「暗い」、「消灯」、「明るい」の順に明るさが切り替わります。

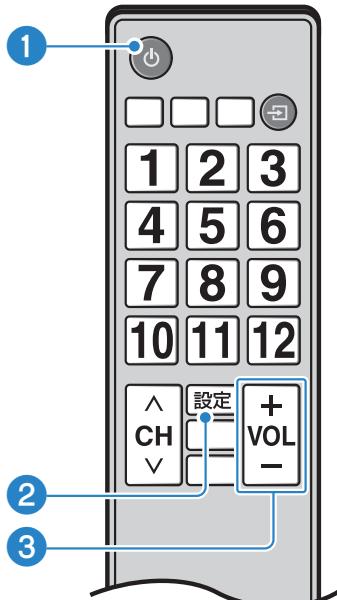
お知らせ

- 操作直後は明るくなり、数秒間経過すると設定した明るさになります。
- Alexaランプは「消灯」の場合も点灯します。また、マイクオフランプは常に同じ明るさで点灯します。

テレビのリモコンでサウンドバーを操作する（HDMIコントロール機能）

HDMIケーブルでサウンドバーとテレビを接続すると、テレビのリモコンでサウンドバーを操作できます。これをHDMIコントロール機能と呼びます。

テレビのリモコン（例）



① 電源のオン/オフ

テレビとサウンドバーの電源が連動します。

② 音声を出力する機器の切り替え

音声の出力先をテレビとサウンドバーで切り替えます。操作方法はテレビによって異なります。

③ 音量の調節

テレビの音声の出力先がサウンドバーに設定されている場合は、サウンドバーの音量を調節できます。

お知らせ

HDMIコントロール機能をオンにすると、オフのときよりも消費電力が上がります。

その他の機能 > テレビのリモコンでサウンドバーを操作する（HDMIコントロール機能）

関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（65ページ）

ニヶ国語放送の音声を切り替える

BS/地上デジタル放送のモノラル音声多重信号入力時に、再生する音声を選べます。

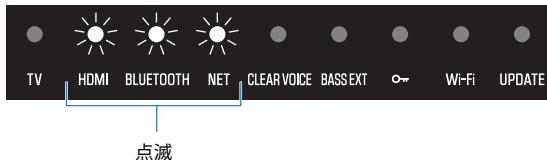
1 リモコンの音声多重ボタンを5秒以上押す。

ボタンを押すたびに、再生する音声が次の順で切り替わります。設定を切り替えると、サウンドバー前面のランプで次のように表示します。



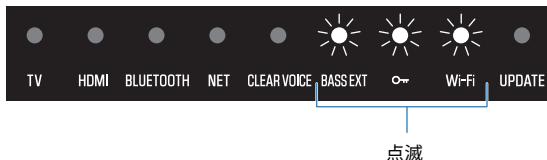
音声多重

・主音声



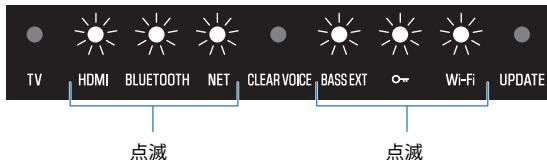
点滅

・副音声



点滅

・主音声+副音声



点滅

点滅

お知らせ

次の場合は、音声の切替えができません。

- ・副音声が収録されていない
- ・ステレオ音声多重信号が入力されている
- ・MPEG-2 AAC以外の音声信号が入力されている

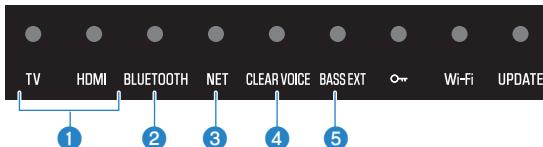
サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する

再生中の音声信号の種類やサウンドバーの設定を確認できます。

1 リモコンのINFOボタンを押す。



INFOボタンを押してから3秒間、設定や音声信号の情報がサウンドバーのランプで次のように表示されます。



① 音声信号の種類

TV点灯（白）、HDMI消灯：Dolby Audio (Dolby Digital/Dolby Digital Plus/Dolby TrueHD)

TV点灯（赤）、HDMI消灯：Dolby Atmos

TV点灯（白）、HDMI点灯（白）：AAC

TV消灯、HDMI点灯（白）：その他の種類の音声信号

② ダイナミックレンジの圧縮レベル

点灯（青）：自動

点灯（白）：圧縮する

消灯：圧縮しない

③ Bluetooth機能のオン/オフ

点灯（白）：オン

消灯：オフ

④ HDMIコントロール機能のオン/オフ

点灯（白）：オン

消灯：オフ

⑤ Wi-Fi機能のオン/オフ

点灯（白）：オン

消灯：オフ

スマートフォンアプリで操作する（Sound Bar Controller）

専用の無料アプリ「Sound Bar Controller」をスマートフォンにインストールすると、スマートフォンからもサウンドバーを操作できます。

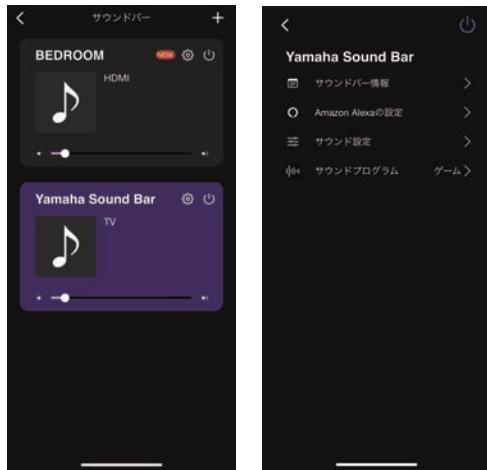
[検索用タグ]#Q02 Network

App StoreまたはGoogle Playで「Sound Bar Controller」を検索して、インストールしてください。



スマートフォンにアプリをインストールしたあと、スマートフォンを無線ネットワークに接続した状態でアプリを起動してください。

次のようなわかりやすい画面で、サウンドバーの設定状態を確認しながら操作できます。



アプリの詳細については、App StoreまたはGoogle Playのアプリ説明をご覧ください。

お知らせ

- お使いになるスマートフォンがご家庭のルーターに接続されているか、確認してから操作してください。
- 本製品は、Sound Bar Controllerのみ対応しています。その他のアプリ（Sound Bar Remoteなど）では操作できません。
- Amazon Alexaや各種ストリーミングサービスは提供される地域が限定されています。そのため、本製品を使用する国や地域によっては、アプリ画面に表示されるメニューの内容や使用可能な機能が異なります。

音声で操作する (Amazon Alexa)

Amazon AlexaはAmazonが提供するクラウドベースの音声AI（人工知能）です。サウンドバーに話しかけるだけで、Alexaを呼び出し、音声でサウンドバーの操作や音楽再生ができます。

[検索用タグ]#Q03 Amazon Alexa

Alexaを使うには、Amazon アカウントが必要です。また、サウンドバーがインターネットに接続されている必要があります。Sound Bar Controllerアプリの画面で、Amazon アカウントの情報を入力し、サービスにログインしてください。

音声で操作できるサウンドバーの機能は次のとおりです。

- ・電源のオン/オフ
- ・入力の切り替え
- ・音量の調節（消音）
- ・サウンドモードの切り替え（STEREO/STANDARD/MOVIE/GAME）
- ・ストリーミングサービスの選択、再生

対応しているストリーミングサービスについては、次のウェブサイトをご覧ください。
<https://manual.yamaha.com/av/sb/ss/sbc/>

お知らせ

- ・最新情報については、ヤマハウェブサイトの製品情報ページをご覧ください。
- ・Amazon Music、Amazon Kindleをご利用いただくには、有料サービスの申し込みが必要になる場合があります。詳しくは、Amazonのウェブサイトをご覧ください。
- ・そのほかのサービスについては、サービス提供者のウェブサイトをご覧ください。
- ・Alexaが使用する言語の設定は、Alexaの初期設定で行います。また、Sound Bar Controllerの設定でも変更できます。
 - ・✿（設定）> Amazon Alexa設定 > Amazon Alexa言語
- ・ストリーミングサービスの音声は、サウンドモードの設定にかかわらずステレオで再生されます。
- ・Alexaに入力をNETに切り替えるように伝えても切り替わりません。再生するストリーミングサービスの名前自体をAlexaに伝えてください。

たとえば、こんな風に話しかけてください。

● 音量を調整する

「アレクサ、ボリュームを上げて。」

「アレクサ、ボリュームを下げて。」

● 入力を切り替える

「アレクサ、入力をHDMIに切り替えて。」

● ストリーミングサービスを聴く (Amazon Musicの場合)

「アレクサ、ジャズをかけて。」

● 再生をコントロールする

- 「アレクサ、次の曲。」
- 「アレクサ、ストップ。」
- 「アレクサ、この曲はなに？」

● 天気を聞く

- 「アレクサ、今日の天気は？」

Alexaは学習内容などの差によって反応が変わるため、上記の例文で指示しても動作しないことがあります。その場合は、別の表現をお試しください。

お知らせ

- AlexaはAmazonが提供するサービスです。本サービスは予告なく変更、停止または終了されることがあります。ヤマハ株式会社は、本サービスの継続的な提供、また本サービスのご使用によって発生した責任について、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Alexaはサービス提供地域が限定されています。国や地域によっては、Alexaをご利用になれない場合があります。
- 一部の機能は、サードパーティーガが提供するサービスの契約が必要になります。
- 誤ってAlexaが反応しないようにしたいときや、プライバシーを守りたいときは、サウンドバーの^電（マイクオン/オフ）を押してマイクをオフにしてください。
- 「アレクサ」と呼びかけるかわりに、リモコンの○（アクション）ボタンを押すかサウンドバーの○（アクション）を押して、Alexaの聞き取りを開始することもできます。
- Amazonが提供するスマートフォン専用アプリ「Amazon Alexa」を使うと、さらに詳細な設定や機能の追加ができます。詳しくは、Amazon Alexaアプリのヘルプをご覧ください。

■ Alexaランプの表示

サウンドバーのAlexaランプは、Alexaの状態に応じて次のように点灯します。

Alexaランプ（例）	Alexaの状態
	待ち受け中
	消灯
	応答中
	点滅（青と水色）
	タイマーや目覚まし、リマインダーなどのお知らせ
	速い点滅（青と水色）

Alexaランプ (例)	Alexaの状態
 点滅 (黄)	<p>通知を受信したとき このランプの表示中にサウンドバーから音が出なくなったら、以下のいずれかの操作をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">• Alexaの通知を確認する。• ✖ (消音) ボタンを2回押す。

関連リンク

「ネットワークに接続する」 (37ページ)

設定

HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える

HDMIコントロール機能をオンにすると、テレビのリモコンでサウンドバーを操作できます。

初期設定は「オン」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 リモコンのHDMIボタンを5秒以上押す。



HDMIコントロール機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯：オンにしたとき
消灯：オフにしたとき

お知らせ

- オーディオリターンチャンネル（ARC）を使う場合は、HDMIコントロール機能をオンにしてください。
- INFOボタンを押すと、HDMIコントロール機能のオン/オフを確認できます。
- HDMIコントロール機能をオンにすると、オフのときよりも消費電力が上がります。待機時消費電力を削減したいときは、HDMIコントロール機能をオフにしてください。その場合、本製品付属のリモコンでサウンドバーを操作してください。

関連リンク

- ・「HDMIケーブル（市販品）でテレビに接続する」（26ページ）
- ・「AV機器をサウンドバーに接続する」（30ページ）
- ・「AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する」（32ページ）
- ・「テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない」（85ページ）
- ・「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」（60ページ）
- ・「待機時消費電力を最小にしたい」（106ページ）

HDMI音声の出力先を切り替える

HDMIコントロール機能がオフの場合に、サウンドバーのHDMI IN端子から入力した音声を出力する機器を切り替えます。

初期設定では、サウンドバーから出力します。

サウンドバー HDMI IN端子に入力した音声をサウンドバーから出力する。

テレビ HDMI IN端子に入力した音声をテレビから出力する。

1 サウンドバーの電源をオフにする。

2 リモコンのTVボタンを5秒以上押す。

HDMI音声の出力先が変更されます。



設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯：サウンドバーから出力
消灯：テレビから出力

お知らせ

- HDMI IN端子の音声をテレビから出力する場合、サウンドバーでは音量を調節できません。テレビで音量を調節してください。
- HDMIコントロール機能をオンにしたままで音声を出力する機器を設定するには、テレビ側で音声を出力する機器を選んでください。
- サウンドバーのHDMI IN端子に入力したHDMI映像信号は、常にサウンドバーのHDMI OUT/TV (eARC)端子へ出力されます。

関連リンク

- ・「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（65ページ）
- ・「AV機器をサウンドバーに接続する」（30ページ）

自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える

自動スタンバイ機能をオンにすると、次のいずれかの場合に電源がオフになります。

- ・操作がない状態で8時間経過
- ・信号入力および操作がない状態で20分経過

サウンドバーの電源の切り忘れを防止したい場合は、自動スタンバイ機能をオンにしてください。

初期設定は「オン」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 サウンドバーの□を押したまま電源ボタンを5秒以上押す。



自動スタンバイ機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯：オフにしたとき
消灯：オンにしたとき

お知らせ

- ・自動スタンバイ機能をオフにすると、オンのときよりも消費電力が上がります。
- ・接続している機器によっては、その機器が再生停止状態やスタンバイ状態でも信号を出力する場合があります。そのため、本製品の電源が自動的にオフにならないことがあります。

チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える

チャイルドロック機能をオンにすると、サウンドバーの操作部が使えなくなるため、誤操作を防止できます。チャイルドロック機能をオンにした場合でも、（マイクオン/オフ）は操作できます。

初期設定は「オフ（操作部の使用可能）」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。**
- 2 リモコンのINFOボタンを5秒以上押す。**



チャイルドロック機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯：チャイルドロック機能オン（操作部の使用不可）にしたとき
消灯：チャイルドロック機能オフ（操作部の使用可能）にしたとき

お知らせ

（マイクオン/オフ）はチャイルドロック機能がオン（操作部の使用不可）の状態でも操作できます。

ネットワークスタンバイ機能のオン/オフを切り替える

ネットワークスタンバイ機能をオンにすると、スマートフォンやBluetooth機器の操作でサウンドバーの電源を次のようにオン/オフできます。

初期設定は「オン」です。

- ・サウンドバーの電源がオフのとき、次の操作をすると電源がオンになります。
 - ・AirPlayで再生する
 - ・スマートフォンの曲を再生する
 - ・Alexaに話しかける（マイクオンの状態）
- ・サウンドバーの電源がオフのとき、Bluetooth機器側で本機に接続すると、サウンドバーの電源がオンになり、入力がBluetoothに切り替わります。
- ・スマートフォンにインストールしたSound Bar Controllerアプリでもサウンドバーの電源をオン/オフできます。

1 サウンドバーの電源をオフにする。

2 リモコンのGAMEボタンを5秒以上押す。



ネットワークスタンバイ機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示されたあと、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯：オンにしたとき

消灯：オフにしたとき

お知らせ

サウンドバーは、待機時（電源オフ状態）でも微電流が流れています。ネットワークスタンバイ機能をオンにすると、オフのときに比べて待機時の電力消費量が多くなります。

関連リンク

「待機時消費電力を最小にしたい」（106ページ）

Bluetooth 機能のオン/オフを切り替える

Bluetooth機能をオフにできます。

初期設定は「オン」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。**
- 2 リモコンのBLUETOOTHボタンを5秒以上押す。**



Bluetooth機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯：オンにしたとき
消灯：オフにしたとき

お知らせ

INFOボタンを押すと、Bluetooth機能のオン/オフを確認できます。

関連リンク

「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」（60ページ）

無線（Wi-Fi）機能のオン/オフを切り替える

無線（Wi-Fi）機能をオフにできます。

初期設定は「オン」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 リモコンのNETボタンを5秒以上押す。



無線（Wi-Fi）機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯：オンにしたとき
消灯：オフにしたとき

お知らせ

INFO ボタンを押すと、無線（Wi-Fi）機能のオン/オフを確認できます。

関連リンク

「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」（60ページ）

ダイナミックレンジの圧縮レベルを設定する

音声信号のダイナミックレンジ（最大音量と最小音量の幅）を圧縮すると、小音量でも聴きやすくなります。この設定はドルビーデジタル音声信号の再生時のみ有効です。

初期設定は「圧縮しない」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 圧縮レベルに応じて、次のようにリモコンを操作する。

圧縮レベル	機能	操作 (リモコンのボタンを3秒以内 に順に押す)
自動	一般的な部屋での視聴に合ったダイナミックレンジ圧縮を適用します。	[STEREO] → [音量+] → [□ (電源)]
圧縮する	最大のダイナミックレンジ圧縮を適用します。	[STEREO] → [音量-] → [□ (電源)]
圧縮しない	ダイナミックレンジ圧縮を適用しません。	[STEREO] → [🔇 (消音)] → [□ (電源)]

ダイナミックレンジ圧縮レベルの設定が変更されます。

設定状態がサウンドバー前面のランプで次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。

圧縮レベル	サウンドバーのランプ表示
自動	 ランプの点灯なし
圧縮する	 点灯
圧縮しない	 点灯

設定 > ダイナミックレンジの圧縮レベルを設定する

お知らせ

INFOボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を確認できます。

関連リンク

「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」 (60ページ)

本製品のファームウェアを更新する

機能の追加や不具合の改善に応じて、新しいファームウェアが提供されることがあります。スマートフォンにインストールしたSound Bar Controllerアプリを使って、本製品のファームウェアを更新できます。

[検索用タグ]#Q04 Update

ご注意

- ・ ファームウェア更新中は、サウンドバーを操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。
- ・ インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。そのような場合は、時間をおいてお試しください。
- ・ ファームウェアに関する詳細は弊社ウェブサイトをご覧ください。

新しいファームウェアが提供されると、サウンドバーの電源がオンのときにUPDATEランプが緑色で点滅します。Sound Bar Controllerアプリの画面に従ってファームウェアを更新してください。



お知らせ

USBメモリーを使ってファームウェアを更新することもできます。詳細については、次の「ファームウェア更新ガイド」をご覧ください。

https://manual.yamaha.com/av/fwupdate/21/sr_ws/

関連リンク

「スマートフォンアプリで操作する（Sound Bar Controller）」（61ページ）

HDMI 信号のフォーマットを設定する

一部のAV機器をサウンドバーに接続したとき、音が出ない、映像の色が異常、などの症状が出ることがあります。

このような症状は、本設定を切り替えることで改善される場合があります。

モード1 通常はこの設定でお使いください。

モード2 映像などに異常が発生した場合に設定します。

初期設定は「モード1」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 リモコンのSTEREOボタンを5秒以上押す。



設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯：モード1

消灯：モード2

設定を初期化する

サウンドバーの設定をすべて初期化します。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 すべてのランプが点滅するまで、サウンドバーの+を押したまま電源ボタンを押す。



サウンドバーの設定が初期化されます。

初期化が完了すると次のように表示され、サウンドバーの電源がオフになります。



点滅：初期化完了



点滅：起動準備中



消灯：電源オフ

よくあるご質問

困ったときに最初に確認すること

ご使用中に本製品が正常に動作しなくなった場合は、最初に次の点を確認してください。

- ・すべての機器の電源プラグがACコンセントにしっかりと接続されている。
- ・本製品、テレビ、AV機器の電源がオンになっている。
- ・各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。

困ったときは（電源/動作全般）

電源が突然オフになる

● 自動スタンバイ機能により電源がオフになった。

自動スタンバイ機能がオンに設定されている場合は、次のいずれかの条件で自動的に電源がオフになります。

- ・操作がない状態で8時間経過
 - ・信号入力および操作がない状態で20分経過
- もう一度電源をオンにしてください。自動スタンバイ機能はオフにすることもできます。
- ・「自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える」（67ページ）

● 保護回路が作動した（サウンドバーのTVランプが赤で点滅します）。

接続が正しいことを確認したあとで、もう一度電源をオンにしてください。たびたび電源がオフになる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

電源がオンにならない

● 保護回路が3回続けて作動した（サウンドバーのTVランプが赤で点滅します）。

製品保護のため、電源がオンにならなくなります。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

● サウンドバーが起動中（サウンドバー前面のランプが点滅します）。

コンセントに接続後、サウンドバーが起動を完了するまで1分程度かかります。ランプが消灯してから△（電源）ボタンを押してください。

サウンドバーの操作部で操作ができない

● チャイルドロック機能がオン（操作部の使用不可）になっている。

チャイルドロック機能をオフ（操作部の使用可能）にしてください。

- ・「チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える」（68ページ）

電源がオンのときにランプがすべて消灯している（電源オフのように見える）

● ランプの明るさが「消灯」になっている。

好みの明るさを選択してください。

- ・「ランプの明るさを調節する」（56ページ）

サウンドバーが正常に動作しない

- 外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。

サウンドバー本体の電源ボタンを15秒以上押して、サウンドバーの電源を強制的にオフにしてください。10秒以上経過してから電源をオンにしてください。

操作をしていないのにサウンドバーの電源がオンになる

● 近くで、別のBluetooth機器が使用されている。

Bluetooth接続を切断してください。

- ・「Bluetooth®機器の音声を聞く」（50ページ）

リモコンでサウンドバーを操作できない

● 操作範囲から外れている。

リモコンの操作範囲内で操作してください。

- ・「リモコンの各部名称」（16ページ）

● 電池が消耗している。

新しい電池に交換してください。

- ・「リモコンの電池を交換する」（108ページ）

● サウンドバーのリモコン受光部に日光や強い照明が当たっている。

照明、またはサウンドバーの向きを変えてください。

テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない

● HDMIコントロール機能が正しく設定されていない。

次のように設定されているか、確認してください。

- ・サウンドバーのHDMIコントロール機能がオンになっている
- ・テレビのHDMIコントロール機能がオンになっている
- ・テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先がテレビの内蔵スピーカー以外に設定されている

それでもテレビのリモコンで操作できない場合は、次を実行してください。

- ・サウンドバーおよびテレビの電源を一度オフにしてからオンにする
- ・サウンドバーおよびHDMI接続している機器の電源プラグをコンセントからはずし、30秒ほど経ってから、接続し直す

関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（65ページ）

● テレビがサウンドバーの操作に対応していない。

HDMIコントロール機能に対応しているテレビでも、一部の機能が操作できることがあります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

Alexaに呼びかけても反応しない

● Alexaが正しく設定されていない。

Sound Bar Controller アプリを使用して正しく設定してください。

- ・「音声で操作する（Amazon Alexa）」（62ページ）

● サウンドバーがネットワークに接続されていない。

ネットワークに接続してください。

- ・「ネットワーク機能について」（37ページ）
- ・「ネットワークケーブルで接続する（有線接続）」（38ページ）
- ・「無線で接続する（無線接続）」（39ページ）

● 周囲の雑音が大きい。

周囲の雑音が大きいと指示が伝わらないため、雑音の原因を解消するか、大きな声ではっきりと話してください。

● Alexaの言語設定が話しかけている言語と異なっている。

Sound Bar Controller アプリで設定を変更してください。

※（設定）> Amazon Alexa設定 > Amazon Alexa言語

● マイクがオフになっている（マイクオフランプが赤で点灯します）。

サウンドバーの[●]（マイクオン/オフ）を押して、マイクをオンにしてください。マイクをオンにすると、マイクオフランプが消灯します。

● Alexaがサービス提供されていない地域で本製品を使用している。

Alexaはサービス提供地域が限定されています。本製品を使用する国や地域によっては、Alexaをご利用になれない場合があります。

● サウンドバーでAmazonアカウントを設定していない。

サウンドバーでAlexaを呼び出すためには、Amazonアカウントの設定が必要です。

Sound Bar Controller アプリの「Amazon Alexa」メニューからAmazonアカウントを設定してください。

UPDATEランプが緑色で点滅している

●新しいファームウェアが提供されている。

Sound Bar Controller アプリを使用してファームウェアを更新してください。

- ・「本製品のファームウェアを更新する」（74ページ）

●本製品のファームウェア更新が必要な状態になっている（UPDATEランプが速く点滅します）。

ファームウェアの更新が失敗した場合など、何らかの理由によりファームウェアの更新が必要な状態になっています。Sound Bar Controllerアプリを使用してファームウェアを更新してください。

- ・「本製品のファームウェアを更新する」（74ページ）

困ったときは（音声）

音が出ない

● 再生したい入力が選ばれていない。

正しい入力を選んでください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

● 消音されている。

消音を解除してください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

● 音量が小さい。

音量を上げてください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

● サウンドバーの電源コードがしっかりと接続されていない。

サウンドバーの電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。

● 入力端子同士を接続している。

サウンドバーの入力端子とAV機器の出力端子を接続してください。AV機器をテレビに接続する場合は、テレビの入力端子とAV機器の出力端子を接続してください。

- ・「AV機器をサウンドバーに接続する」（30ページ）
- ・「AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する」（32ページ）

● サウンドバーが再生できない信号が入力されている。

テレビまたはAV機器側のデジタル音声出力を、本製品が対応している音声信号に設定してください。

- ・「対応しているデジタル音声信号フォーマット」（116ページ）

● HDMIコントロール機能がオフに設定されている。

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビとサウンドバーをHDMIケーブルのみで接続する場合は、HDMIコントロール機能をオンに設定してください。

HDMIコントロール機能をオフにしたままサウンドバーで音声を再生するには、サウンドバーのTV端子（光デジタル）とテレビの音声出力端子を光デジタルケーブルで接続してください。

- ・「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（65ページ）
- ・「HDMIケーブル（市販品）でテレビに接続する」（26ページ）

● HDMIコントロール機能を使用しているテレビの音声出力先が、テレビの内蔵スピーカーになっている。

テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先をテレビの内蔵スピーカー以外に切り替えてください。

よくあるご質問 > 困ったときは（音声）

● Alexaランプが黄色に点滅している。（Alexaが通知を受信した。）

以下のいずれかの操作をしてください。

- ・ Alexaの通知を確認する。
- ・ ✕（消音）ボタンを2回押す。

サブウーファーから音が出ない

● 再生している音声にサブウーファーチャンネルの信号や低音信号が含まれていない。

サブウーファーチャンネルの信号が含まれているソフトを再生して、サブウーファーから音が出ることを確認ください。

● サブウーファーの音量が小さい。

サブウーファーの音量を上げてください。

- ・「サブウーファーの音量を調節する」（47ページ）

電源をオンにし直すと音量が下がる

● 音量自動調節機能により音量が下がった。

本製品は、突然大音量が出力されるのを防ぐため、音量自動調節機能を搭載しています。音量が大きい状態で電源をオフにした場合、次回電源がオンになったときは自動的に安全な音量に設定されます。必要に応じて、音量を上げてください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

サラウンド感が得られない

● ステレオ再生にしている。

サラウンド再生に切り替えてください。

- ・「サラウンドで再生する」（45ページ）

● 音量が小さい。

音量を上げてください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

● テレビ、またはAV機器が常に2チャンネル（PCMなど）で出力するように設定されている。

テレビまたはAV機器の設定を、ビットストリーム音声信号が出力されるように変更してください。

● テレビのスピーカーからも音が出ている。

テレビの音量を最小にしてください。

● 視聴位置がサウンドバーに極端に近過ぎる。

ある程度、離れた位置で視聴してください。

● Bluetooth機器やストリーミングサービスなどの音声を再生している。

BLUETOOTHまたはNET（ストリーミングサービスなど）入力の音声は、サウンドモードの設定にかかわらずステレオで再生されます。

雑音が入る

- デジタル機器や高周波機器がサウンドバーの近くに置かれている。

サウンドバーとそれらの機器を離して設置してください。

困ったときは（Bluetooth®）

Bluetooth®機器と接続できない

- サウンドバーの入力がBluetooth以外になっている。

入力をBluetoothにしてください。

- ・「Bluetooth®機器の音声を聞く」（50ページ）

- サウンドバーとBluetooth機器の距離が離れすぎている。

サウンドバーとBluetooth機器を近づけてください。

- 電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。

電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

- お使いのBluetooth機器がA2DPプロファイルに対応していない。

A2DPプロファイル対応のBluetooth機器をお使いください。

- Bluetooth機器に登録されている接続情報が正しく機能していない。

Bluetooth機器の接続情報を削除してから、サウンドバーとBluetooth機器を接続してください。

- Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。

パスキーが「0000」の機器をお使いください。

- サウンドバーと別のBluetooth機器が接続している。

Bluetooth機器の接続を切断してから、新しいBluetooth機器を接続してください。

- サウンドバーのBluetooth機能がオフになっている。

Bluetooth機能をオンにしてください。

- ・「Bluetooth 機能のオン/オフを切り替える」（70ページ）

Bluetooth®接続時に音が出ない、または音が途切れる

- **Bluetooth機器の音量が小さすぎる。**

Bluetooth機器の音量を上げてください。

- **Bluetooth機器を再生していない。**

Bluetooth機器を再生してください。

- **Bluetooth機器の音声出力先が本製品になっていない。**

Bluetooth機器を操作し、音声出力先として本製品を選択してください。

- **Bluetooth接続が切断された。**

再度Bluetooth接続を行ってください。

- **サウンドバーとBluetooth機器の距離が離れすぎている。**

Bluetooth機器をサウンドバーの近くに移動してください。

- **電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。**

電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

困ったときは（ネットワーク）

ネットワーク機能を使用できない

- ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。

ルーターのDHCP サーバー機能を有効にしてください。

- IPv6 タイプのルーターと接続しようとしている。

サウンドバーはIPv6 のネットワークには対応していません。IPv4 のネットワークに接続してください。

無線LAN ルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない

● 無線LAN ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。

無線LAN ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。

● サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）の距離が離れすぎている。

サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）を近づけてください。

● サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。

サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がない場所に設置してください。

● 無線LAN ルーター（アクセスポイント）が特定のチャンネルを使用する設定になっている。

無線LAN ルーターを自動でチャンネルを選択する設定に変更してください。使用するチャンネルを指定する場合は、1チャンネルまたは11チャンネルを指定してください。

無線ネットワークが見つからない

● 電子レンジや別の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。

それらの機器の電源を切るか、サウンドバーや無線LANルーター（アクセスポイント）から遠ざけてください。または5GHz対応の無線LANルーター（アクセスポイント）に接続してください。

● 無線LANルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。

無線LANルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定をご確認ください。

AirPlayで音楽を再生できない

● 非対応のオーディオファイルを再生している。

AirPlay対応機器本体で再生し、再生可能なファイルか確認してください。再生できない場合は、ファイルフォーマットが非対応か、ファイルが破損している可能性があります。

AirPlay対応機器側でサウンドバーが検出されない

● サウンドバーとAirPlay対応機器が別々のSSIDに接続されている。

サウンドバーとAirPlay対応機器を同じSSIDに接続してください（プライマリSSIDへの接続をお試しください）。

ストリーミングサービスを再生できない

- 選択したストリーミングサービスが現在停止している。

しばらく経ってからもう一度再生してください。

- ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。

ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、ストリーミングサービスは各サービス指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はストリーミングサービスにより異なります。

- ストリーミングサービスが提供されていない地域で本製品を使用している。

各種ストリーミングサービスは提供される地域が限定されています。本製品を使用する国や地域によっては、ストリーミングサービスをご利用になれない場合があります。

メディアサーバー（NASなど）のオーディオファイルが再生できない

- サウンドバーが対応していないファイルフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしている。

サウンドバーが対応しているファイルフォーマットのオーディオファイルのみを再生できます。

- ・「Sound Bar Controllerアプリでオーディオファイルを再生する」（53ページ）

ネットワーク経由でファームウェアを更新できない

● ネットワークの接続状態が悪い。

しばらく経ってから再度実行するか、USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。USBメモリーによる更新については、次の「ファームウェア更新ガイド」をご覧ください。

https://manual.yamaha.com/av/fwupdate/21/sr_ws/

困ったときは（アプリ）

アプリでサウンドバーを検出できない

● 本製品非対応のアプリを使用している。

本製品はSound Bar Controllerのみ対応しています。Sound Bar Remote、Home Theater ControllerおよびMusicCast Controllerは使用できません。

● サウンドバーとスマートフォンが同じネットワークに接続されていない。

ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。

● スマートフォンが無線（Wi-Fi）で無線LANルーターに接続されていない。

スマートフォンを無線（Wi-Fi）で無線LANルーターに接続してください。

● マルチSSID 対応ルーターを使用している。

無線LANルーターのネットワーク分離機能により、サウンドバーへのアクセスができないくなっている可能性があります。サウンドバーとスマートフォンは同じSSIDのネットワークに接続してください。まず、プライマリーSSIDへの接続をおすすめします。

● 無線（Wi-Fi）機能が無効になっている。

無線（Wi-Fi）機能を有効に変更してください。

- ・「無線（Wi-Fi）機能のオン/オフを切り替える」（71ページ）

アプリでメディアサーバー（NASなど）を検出できない

● メディアサーバーの共有設定が有効になっていない。

メディアサーバー（NASなど）またはメディアサーバーソフトでのメディア共有設定を有効にする必要があります。詳しくは各機器またはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

● セキュリティーソフトなどの設定により、メディアサーバーへのアクセスが制限されている。

メディアサーバーまたはルーターのセキュリティーソフトの設定をご確認ください。

● サウンドバー、スマートフォンおよびメディアサーバーが同じネットワークに接続されていない。

ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、サウンドバー、スマートフォンおよびメディアサーバーを同じネットワークに接続してください。

待機時消費電力を最小にしたい

次のように設定を変更してください。

- ・HDMIコントロール：「オフ」
- ・ネットワークスタンバイ：「オフ」

関連リンク

- ・「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（65ページ）
- ・「ネットワークスタンバイ機能のオン/オフを切り替える」（69ページ）

リモコンの電池を交換したい

リモコンの電池に関する注意事項

リモコンの電池を交換する前に、次の注意事項を必ずお読みください。注意事項は必ずお守りください。



警告

- 本製品に付属するリモコンはコイン/ボタン電池を内蔵しています。コイン/ボタン電池を飲み込まないでください。使用済みを含む、すべてのコイン/ボタン電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。電池ケースが破損したリモコンを乳幼児の手の届くところに置かないでください。コイン/ボタン電池を飲み込んだ場合、2時間以内に深刻な化学やけどや体内組織の融解が発生し、死亡する可能性があります。万一、コイン/ボタン電池を飲み込んでしまった可能性がある場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 電池を火の中に入れないでください。電池を日光や火のような高温にさらさないでください。リモコンに入っている電池を充電しないでください。破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
- 電池を分解しないでください。電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れないでください。電池の中のものに触れたりすると、失明や化学やけどの原因になります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



注意

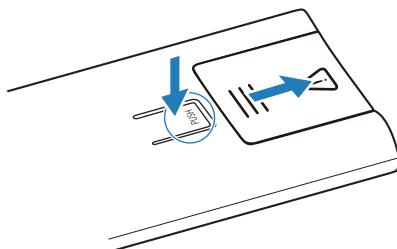
- 指定以外の電池を使用しないでください。火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。
- 電池は+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。
- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池をリモコンから抜いてください。電池が消耗した結果、電池から液漏れが発生して、炎症やリモコンの損傷の原因になります。
- 電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しないでください。電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

リモコンの電池を交換する

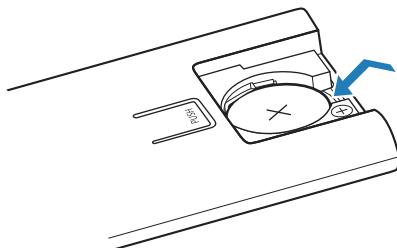
- 電池を交換する前に次の注意事項をお読みください。
・「リモコンの電池に関する注意事項」（107ページ）

電池が消耗するとリモコンでサウンドバーを操作できなくなります。新しい電池に交換してください。

- 1** リモコンの裏側の「PUSH」部を押しながら、フタを矢印の方向にスライドして外す。



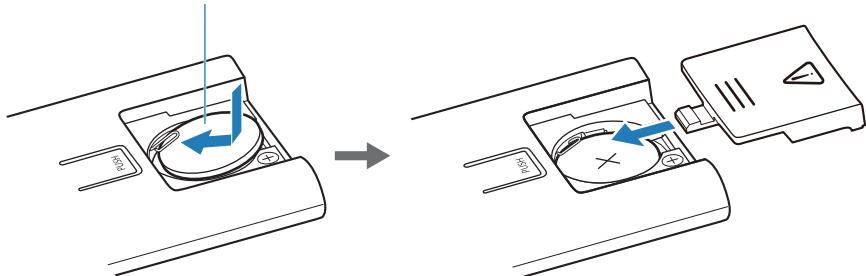
- 2** 先の細いボールペンなどを矢印のように差し込んで電池を外す。



よくあるご質問 > リモコンの電池を交換したい

3 新しい電池を入れ、フタを矢印の方向にスライドして戻す。

リチウムコイン電池（CR2025：1個）



カチッと音がするまで、指で電池を押し込んでください。

サウンドバーをリセットしたい

次のような操作で、サウンドバーをリセットします。

■ サウンドバーの電源を強制的にオフにしたい場合

サウンドバー本体の電源ボタンを15秒以上押してください。

■ 設定を初期化したい場合

次の説明を参照して、設定を初期化してください。

「設定を初期化する」（76ページ）

仕様

本製品の主な仕様

本製品の主な仕様は次のとおりです。

アンプ部

実用最大出力（非同時駆動、JEITA）

・ フロントL/R	30 W × 2 ch
・ ハイトL/R	30 W × 2 ch
・ サブウーファー	30 W × 2

スピーカー部

フロントL/R

・ 形式	密閉型（非防磁）
・ スピーカーユニット	4.6 × 6.6 cm コーン × 2
・ 再生周波数帯域	220 Hz ~ 22 kHz
・ インピーダンス	6 Ω

ハイトL/R

・ 形式	密閉型（非防磁）
・ スピーカーユニット	5.2 cm コーン × 2
・ 再生周波数帯域	220 Hz ~ 22 kHz
・ インピーダンス	6 Ω

サブウーファー

・ 形式	密閉型（非防磁）
・ スピーカーユニット	7.5 cm コーン × 2
・ 再生周波数帯域	55 Hz ~ 220 Hz
・ インピーダンス	6 Ω × 2

入力端子

光デジタル	1 (TV)
-------	--------

HDMI	1 (HDMI IN)
------	-------------

出力端子

HDMI	1 (HDMI OUT/TV (eARC))
------	------------------------

その他の端子

USB	1 (UPDATE ONLY)
-----	-----------------

ネットワーク (100BASE-TX/10BASE-T)	1 (NETWORK)
------------------------------	-------------

Bluetooth

受信動作	他機器からの受信機能
Bluetoothバージョン	Ver 5.0
対応プロファイル	受信：A2DP
対応コーデック	受信：SBC、MPEG-4 AAC
Bluetoothクラス	Bluetooth Class 2
見通し通信距離	約10 m
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式（受信時）

無線ネットワーク

・ 無線LAN 規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac*
・ 無線周波数帯域	*20 MHzチャンネル帯域幅のみ 2.4 GHz
・ 暗号化方式	WPA、WPA2、WPA3

ネットワーク音声機能

対応コーデック	WAV (PCMフォーマットのみ) /FLAC/AIFF/Ogg Vorbis : 192 kHzまで
	ALAC : 96 kHzまで MP3/WMA/MPEG-4 AAC/Ogg Opus : 48 kHzまで

総合

電源電圧	AC 100 V ~ 120 V、50/60 Hz
消費電力	36 W（定格）
待機消費電力	
• ネットワークスタンバイ、HDMIコントロール：オフ	0.5 W
• HDMIコントロール：オフ ネットワークスタンバイ：オン 無線（Wi-Fi）機能：オン/オフ	2.0 W
• HDMIコントロール、Bluetooth、無線（Wi-Fi）機能：オフ ネットワークスタンバイ：オン	2.0 W
• HDMIコントロール、Bluetooth：オフ ネットワークスタンバイ、無線（Wi-Fi）機能：オン	2.0 W
• HDMIコントロール、ネットワークスタンバイ：オン Bluetooth：オフ 無線機能：オン/オフ	2.0 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行き）	
• テレビの前などに設置	1015 × 63 × 112 mm
• 壁掛け設置、スペーサーを含む	1015 × 63 × 120 mm
質量	3.9 kg

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

対応しているHDMI映像・音声信号フォーマット

本製品が対応しているHDMI映像・音声信号です。

音声信号（HDMI IN端子、HDMI OUT/TV (eARC)端子の音声入力信号）

AV機器のHDMI出力端子からサウンドバーのHDMI IN端子に入力した音声信号、およびテレビのeARC対応HDMI入力端子からサウンドバーのHDMI OUT/TV (eARC)端子に入力した音声信号のうち、本製品で再生できる音声信号は次のとおりです。

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2 ch、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz、16 / 20 / 24 bit
マルチチャンネルリニアPCM	8 ch、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital / Dolby Digital EX / Dolby Digital Plus / Dolby TrueHD / Dolby Atmos、MPEG-2 AAC

映像信号

次の映像信号に対応しています。

- Deep Color
- x.v.Color
- 3D映像信号
- High Dynamic Range (HDR) 映像信号
 - HDR10
 - HLG
 - Dolby Vision

次の解像度に対応しています。

- VGA
- 480i / 60 Hz
- 480p / 60 Hz
- 576i / 50 Hz
- 576p / 50 Hz
- 720p / 60 Hz、50 Hz
- 1080i / 60 Hz、50 Hz
- 1080p / 60 Hz、50 Hz、24 Hz
- 4K / 60 Hz、50 Hz、30 Hz、25 Hz、24 Hz

著作権保護規格

HDCP 2.3対応

お知らせ

- ・サウンドバーへ接続する方法については、AV機器の取扱説明書もご覧ください。
- ・コピープロテクトがかかるDVDオーディオを再生する場合、お使いのDVDプレーヤーによっては映像信号および音声信号が出力されないことがあります。
- ・サウンドバーはHDCP非対応の、HDMIやDVI端子を装備したテレビやプロジェクターには対応していません。HDCP対応の有無については、お使いのHDMI機器やDVI機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ビットストリーム音声信号をデコードするには、AV機器がビットストリーム信号をそのまま出力するように、AV機器で設定を変更してください。詳しくは、AV機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・接続したテレビの性能により、伝送する映像信号の解像度などが変わります。
- ・この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

対応しているデジタル音声信号フォーマット

本製品が対応しているデジタル音声信号です。

HDMI OUT/TV (eARC)端子の音声入力信号

テレビのARC対応HDMI入力端子からサウンドバーのHDMI OUT/TV (eARC)端子に入力したデジタル音声信号のうち、本製品で再生できるデジタル音声信号は次のとおりです。

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2 ch、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital / Dolby Digital EX / Dolby Digital Plus / Dolby Atmos、MPEG-2 AAC

TV端子の音声入力信号

テレビの光デジタル出力端子からサウンドバーのTV端子に入力したデジタル音声信号のうち、本製品で再生できるデジタル音声信号は次のとおりです。

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2 ch、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital、Dolby Digital EX、MPEG-2 AAC

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

主なランプ表示一覧

サウンドバーの主要なランプ表示は次のとおりです。

お知らせ

本ガイドでは、ランプの点灯状態を次のように表示します。



消灯



点灯

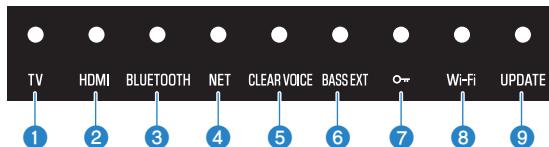


点滅

電源オフ状態



通常の再生状態



① TV

点灯（白）：テレビの音声を再生中

② HDMI

点灯（白）：HDMI IN端子に入力した音声を再生中

③ BLUETOOTH

点灯（青）：Bluetooth機器接続完了

点滅（白）：Bluetooth機器の接続待ち受け状態

④ NET

点灯（白）：ネットワークの音声を再生中

⑤ CLEAR VOICE

点灯（白）：クリアボイスオン

消灯：クリアボイスオフ

仕様 > 主なランプ表示一覧

⑥ BASS EXT

点灯（白）：バスエクステンションオン

消灯：バスエクステンションオフ

⑦ O-∞

点灯（白）：チャイルドロック機能オン（操作部を使用不可）

消灯：チャイルドロック機能オフ（操作部を使用可）

⑧ Wi-Fi

点灯（白）：接続完了

点滅（白）：Wi-Fi接続中

消灯：Wi-Fi切断中

⑨ UPDATE

点滅（緑）：新しいファームウェアあり

消灯：新しいファームウェアなし

消音状態



操作が無効



異常が発生した



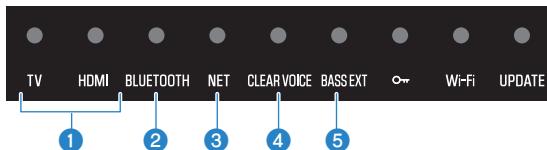
点滅（赤）

サウンドバーの設定と音声信号の表示

リモコンのINFOボタンを押してから3秒間、設定や音声信号の情報がサウンドバーのランプで次のように表示されます。



音声多重



① 音声信号の種類

TV点灯（白）、HDMI消灯：Dolby Audio (Dolby Digital/Dolby Digital Plus/Dolby TrueHD)

TV点灯（赤）、HDMI消灯：Dolby Atmos

TV点灯（白）、HDMI点灯（白）：AAC

TV消灯、HDMI点灯（白）：その他の種類の音声信号

② ダイナミックレンジの圧縮レベル

点灯（青）：自動

点灯（白）：圧縮する

消灯：圧縮しない

③ Bluetooth機能のオン/オフ

点灯（白）：オン

消灯：オフ

④ HDMIコントロール機能のオン/オフ

点灯（白）：オン

消灯：オフ

⑤ Wi-Fi機能のオン/オフ

点灯（白）：オン

消灯：オフ

お知らせ

- ランプの明るさを「消灯」に設定している場合は、操作中のみランプが点灯します。
- 設定変更時の表示については、各設定の説明をご覧ください。

関連リンク

- 「再生時の基本操作」（41ページ）
- 「お好みの音に調整する」（43ページ）
- 「ランプの明るさを調節する」（56ページ）
- 「困ったときは（電源/動作全般）」（78ページ）

付録

商標

本ガイドで使用している商標は次の通りです。

COMPATIBLE WITH
 Dolby Vision  Dolby Atmos

Dolby、Dolby Vision、Dolby Atmos、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

本製品はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造しています。

非公開機密著作物。著作権 2012-2022年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。



Amazon、Alexa、Amazon Music、Kindle および関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。



Wi-Fi CERTIFIED™ロゴはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Wi-FiおよびWi-Fi CERTIFIEDはWi-Fi Alliance®の登録商標または商標です。

x.v.Color™

「x.v.Color」は、ソニー株式会社の商標です。



このAirPlay 2対応スピーカーをコントロールするには、iOS 11.4以降が必要です。

Works with Appleバッジを表記したアクセサリーは、バッジが表す技術に適合するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定されたアクセサリーであることを示します。

Apple、AirPlay、Apple TV、Apple Watch、iPad、iPad Air、iPad Pro、iPhone、Lightning、iTunesは、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。

日本国内において、iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

App Store

App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.のサービスマークです。

Android Google Play

Android、Google Playは、Google LLCの商標または登録商標です。

GPL/LGPLについて

本製品は、GPL/LGPL ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様はGPL/LGPL ライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコード入手、改変、再配布する権利があります。

GPL/LGPL ライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPL ライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

https://manual.yamaha.com/av/cm/sla/21/sr_ws/

サポート窓口一覧

問題が解決しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

日本国内のお客様

- お買い上げ店、または同梱の「スタートアップガイド」に掲載の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

日本以外の地域のお客様

- お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。

<https://manual.yamaha.com/av/support/>

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2023 Yamaha Corporation

2025年3月発行 NV-D0

AV21-0002